

参考資料 2

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
1	松並青葉二丁目	徒歩圏内の黒内小学校を希望です。スクールバスでの小学校への希望者が少なく、黒内小学校に人数が集中した場合も希望通り黒内小学校には通えるのでしょうか？交差点の緩和として、松並青葉の子供達をスクールバスを使つての黒内小学校へ登園はいかがでしょうか？	・他校を選択しなければ、本来の就学校である黒内小学校へ就学できます。また、黒内小学校の児童数増加が継続することが見込まれる場合、敷地内へのプレハブ設置、休み時間等の近隣公園利用を検討するほか、北園交差点の混雑を緩和するため、時差登校の継続、交差点回避ルートでの登下校等を実施していきます。 ・黒内小学校へのスクールバス通学については、安全は確保されると思いますが、児童数が多く、バスで交差点が混雑する可能性もあるため、難しいと考えています。
2	松並青葉二丁目	選択制にしてくれたお陰で、各家庭の都合に合わせることが出来てありがたい。	ご意見ありがとうございます。
3	松並青葉四丁目	・通学区域の変更などではなく、学校選択制になった背景・経緯は？ ・今回の説明会を踏まえての修正案などを説明する場は設けるのか？個人的には推計値やアンケートの取り方などに多々問題があったので、それらについて改めて正しい数字を算出し、今回の説明会の意見を踏まえた修正案を説明してほしいと考えている。 ・黒内小学校以外を選択する人が少なかった場合に、放課後や休みの日に遊ぶ相手がいなくなることを懸念している。また、放課後や休みの日に学校の友達と遊べないことによって、いじめとか仲間外れにされないか懸念している。 ・郷州小学校や御所ヶ丘小学校に人を誘導したいのならば、そこに教育リソースを重点配分したり、魅力的なカリキュラムづくりなど、魅力を高めれば良いと思うが、そうした取組をする予定はあるか？	・通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。結果的に皆様を迷わせる形となり申し訳ありませんでした。 ・今回の説明会やアンケートでのご意見を基に最終的な形でまとめた対策方針については、決定後とはなりますが、4月13日に説明会を予定しています。1月に実施したアンケートについては、クロス集計で未就学児保護者のみの結果も把握しておりますが、その傾向は全体と大きくは変わらない傾向です（全体／反対33.7% 賛成1年31.8% 賛成1・2年8.4% 賛成1～5年17.6%、未就学児のみ／反対38.6% 賛成1年30.4% 賛成1・2年8.6% 賛成1～5年15.8%）。 ・放課後については、移動先の学校での放課後子ども教室を参加費を市負担とすることで利用しやすくなるよう検討しています。また、地域における友人関係構築の場となるよう、駅東側への児童センター等の設置について、担当部署と協議してまいります。 ・守谷市はどの小学校においても一人一台端末などの学習環境が統一されており、教育の質が均一となっておりますが、今後、市としてアクティブラーニング（児童が主体となって課題解決を目指すなどの主体的・対話的な学習活動）を進めていくことを検討しており、そのモデル校に御所ヶ丘小学校と郷州小学校を選定しています。このため、それぞれの学校においては、各校のテーマに沿った教材整備を進めております。
4	松並青葉四丁目	遅刻便は反対（自己責任では？市税の無駄と感じる）、郷州か御所ヶ丘のどちらか一校にまとめてほしい、バス停は地域ごとがいい、バスの現在地がわかるGPSアプリがあると嬉しい（バス停での混雑を最小限にするため）	・遅刻対応については、公共交通機関をご利用いただくことなどを含めて検討しています。 ・受入校を1校とすると、移動人数によっては受入先が大規模校となる可能性があるため、2校とした経緯があります。 ・登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。 ・スクールバスについては乗降管理システム導入を検討しており、GPS又はバス停到着前●分前をメール等で保護者にお知らせできる機能の付加も検討しています。
5	松並青葉四丁目	選択制でなく松並青葉地区まとめて郷州小か御所ヶ丘小のどちらかにまとめてほしい。 スクールバスの遅刻用便は作らないでほしい。 バス停は地区ごとに分散させてほしい。	・受入校を1校とすると、移動人数によっては受入先が大規模校となる可能性があるため、2校とした経緯があります。近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。 ・遅刻対応については、公共交通機関をご利用いただくことなどを含めて検討しています。 ・登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。下校時のバス停は、地区ごとのモコバス停留所付近を検討しています。
7	松並青葉四丁目	令和6年現在、黒内小学校は疲弊しており、少なくとも一部の教室では、十分な品質の教育が提供されていません。今回、問題解決の取り組み開始が実質令和7年からのご提案ですが、令和6年の一年間、黒内小学校に通うことを皆様が強いっている生徒が不憫です。 希望者のみに限定し、在校生も郷州または御所ヶ丘に気軽に行けるよう、スクールバスの手配をご検討ください。黒内の人数緩和に貢献する家族に見返りが全くなく、自動車で送迎を強いるのは横暴です。 学校を完全に選択制にすると、ご近所さんとの調整に時間を要するので、地域ごとにデフォルトを定めたらいかがでしょうか。	・黒内小学校の現状について、ご不安、ご心配をお掛けしており大変申し訳ありません。 ・スクールバス運行を開始するまでには、制度決定後に人数を把握した上でのバス車両の確保のほか、安全性の絶対確保のために乗降システムの選定やバスルートの確定等、一定程度の準備期間が必要となるため、令和6年度の運用は困難です。大変申し訳ありませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・地域ごとに学校を指定する当初の事務局案には様々なご意見が寄せられたため、選択制とすることとなりました。近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。また、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化(地域ごとで学校を決めていく)していくことも可能ではないかと考えております。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
8	松並青葉二丁目	各家庭の事情や子どもひとりひとりの意向などは本当に様々なので、単に人数の多い学校の子を適当に住所で区切って人数の少ない学校に行かせればいい、という話にはとにかくできないと思う。子どもの生活、働いたりしながら子どもの生活をサポートする親のことを全く考えていない、あまりに乱暴な案。児童数を見れば、この先何年もこの状態が続くというのに、そんな対応で済むと思っているのが理解に苦しむ。近隣のつくばみらい、つくば、流山等は、住民の増加を見込んで何年も前から対応している。次年度から変えたいという内容の話を今の時期に住民に下すというのも、あまりに遅すぎる。2月半ばに説明して、3月には決める。なぜこんなに重要なことを、そんな切迫したスケジュールで決めなければいけないのか。いろいろとおかしい。こんなことなら、この地域に住まなければ良かったと思う人まで出てきている事態になっていること、とにかく市には猛省していただきたい。とりあえず、もう黒内小は増やせるだけ校舎や学童保育も増設しているし、小学校を新設できないというのであれば、黒内小をある程度大規模校のまま運営していくしかないと思う。それでも大規模校の学校運営に不安がある家庭等は、他の学校を選択できるという形をとれるようにするというのが、現状では一番現実的な対応になるのではないかなと思う。 もしくは、これは段階的にか進められないと思うが、守谷市内全体での小学校の学区の見直しをする案。例えば、松並青葉の子どもが守谷小を通り過ぎてわざわざスクールバスを使って郷州小に行くのではなく、守谷小学区でも、郷州小寄りの地域は郷州小へ、黒内小学区でも、守谷小寄りの地域は守谷小へ、という風に、徒歩で通学できる範囲での学区の見直しを守谷市内全体で行う方が、黒内小に限らず、小学校の児童数の偏りをなくせるのではないかなと思う。スクールバス運用は、現時点ではやむを得ない措置かとも思うが、アンケートの意見を見ていると、それによるデメリットの方が明らかに多い気がして、上手く運用できないとしか思えない。	・ご意見のとおり、地区ごとに通学先を変更いただく当初の通学区域の変更案については、反対意見が多く寄せられたため、今回選択制とさせていただきます。選択制とすることで、黒内小学校の過大規模化とそのため生じている課題解決につながらないことを想定し、敷地内へのプレハブ設置、休み時間等の近隣公園利用を検討するほか、北園交差点の混雑を緩和するため、時差登校の継続、交差点回避ルートでの登下校等を実施していきます。 ・令和3年度の増築工事の基礎資料であった児童数学級数推計と実績値が令和4年度に相違した時点で、改めてより詳細な推計を行い、対策検討を開始したため、地域の皆様への周知が遅くなり、大変申し訳ありませんでした。 ・新たな推計では、令和7年度から8年度にかけて教室数不足や児童数ピークを迎えることが見込まれるため、令和7年度からの対策開始が必要となっています。学校新設については、用地取得から学校開設まで5～6年掛かることから、今回対策としては間に合わないかと判断しています。 ・今後は、黒内小学校のみならず、市内全小中学校が適正規模で推移するよう、徒歩圏の通学区域の変更や統廃合など、中長期的な視点での方針策定も進めていく予定です。
9	松並青葉二丁目	選択制にするのであれば、黒内小以外を選択すれば必ず選べるように受け入れ人数を増やしてほしい。2丁目付近に止まるバス停を増やしてほしい	・受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。ただし、可能な限りご希望には添えるよう、柔軟な対応を検討していきたいと考えています。 ・登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。下校時のバス停は、地区ごとのモコバス停留所付近を検討しています。
11	松並青葉二丁目	御所ヶ丘小を選択した場合、中学校も原則として御所ヶ中になると思いますが、その場合も引き続きバスを利用できるようにしていただきたい。	・中学校の通学距離の目安は6km以内とされており、松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、現時点ではスクールバスによる通学は考えていません。 ただし、通学路の安全性確保を望むご意見は多く寄せられているため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。
12	松並青葉四丁目	同じ地区に住む子ども達が複数の小学校に分散してしまうのは納得いかない。黒内小学校またはもう1校に絞るべきだと思う。	・受入校を1校とすると、移動人数によっては受入先が大規模校となる可能性があるため、2校とした経緯があります。近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。
13	松並青葉四丁目	そもそもまちづくりをしている段階で想定していないことがおかしい。ここに家を買うことを決めた時には近くに通える小学校があることも決定理由のひとつ。 こんなことなら守谷じゃなく他の地域にすれば良かった。 軽く詐欺ではないかと思っているくらいです。 ただ現状の黒内に行かせるメリットはなく、他に決めるしかないが送迎や友人関係の問題が心配。学校新設してひとつの地区全員を受け入れられないならば、せめて一丁目・二丁目・三丁目・四丁目で学区を振り当てて近所の子どもたちを同じ学校になるようにした方が良いと感じる。 スクールバスでの運用も悪くはないが、遅刻・早退など、時間と場所を柔軟に送迎対応してほしい。 黒内・郷州・御所ヶ丘の各校特色を分けずどこにしても同じクオリティで共通にして欲しい。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 ・通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案(丁目ごとに学校を指定して変更する案)は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・遅刻対応については、公共交通機関をご利用いただくことなどを含めて検討しています。早退時は、保護者送迎が困難な場合は、学校公用車等による送迎を検討しています。 ・守谷市はどの小学校においても一人一台端末などの学習環境が統一されており、教育の質は均一となっておりますが、今後、市としてアクティブラーニング(児童が主体となって課題解決を目指すなどの主体的・対話的な学習活動)を進めていくことを検討しており、そのモデル校に御所ヶ丘小学校と郷州小学校を選定しています。両校で実績が見えてきた時点で、他校にも順次拡げていく予定です。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
14	松並青葉三丁目	松並青葉の説明会に参加しました。 説明会時点での提案は現行考えられる落とし所だとは思ふ。 しかし、黒内小学校は何年も前から児童が多い状態になることがわかってい たにも関わらず、学校新設の対応を取らず、今になって小手先の対応で松並 青葉の住民に負担をかけるような施策を取ろうとしている市並びに教育委員 会に大きく失望しています。市が主導して松並青葉地区の開発を進めていた にも関わらず、松並青葉の児童のために学校新設の予算はない、北園交差点 を児童が安全に渡れるように改良する予算がない、といった回答をしていま したが、松並青葉の住民に対して市はお金を使う気はないと言っているよう なものであり、松並青葉の住民は守谷市民ではないのだろうか。このような 仕打ちを受けると、住民税も固定資産税も守谷市に納めている意味、価値を 見いだせない。子育て王国もりや、と謳って未就学児の子育て世代を集めつ つ、義務教育世代に対してこのようなひどい施策を取っている市であるとわ かっていたら守谷市に住もうとは思わなかった。非常に後悔している。この ような被害者が増えないようにインターネットなどを通じて守谷市の実態を 知らせていきたい。 守谷市の試算では令和25年度時点でも黒内小学校は1000人を超える過大規模 校になる想定であり、今から小学校を新設しても児童数が少なくなりすぎる ことはない。 つくばみらい市は守谷市よりも各学年の児童が100人ほど少ないにも関わら ず、小学校の数は守谷市と同数で中学校は一つ多い。社人研の人口予測では 守谷市のほうがつくばみらい市よりも人口数は伸びると予測されており、守 谷市の小中学校の数は少なすぎるのではないかと思う。 コンサルに無駄な金を払って児童数の推計を出させるお金があるなら学校候 補地の調査費用に使ったほうがましだ。 どうせどこかに責任転嫁するのであれば、社人研の推計をもとに小中学校を 新設し、社人研のせいにしてはどうか？ また、学区審議会はとりあえず学校新設を答申に盛り込み、議会や市長に責 任転嫁してはどうか？ スクールバスの導入については現実的な提案を聞くことができなかった。令 和9年以降200人以上最大400人程度の児童がバス通学することを想定してい るが、御所ヶ丘小学校や郷州小学校の地域住民が受け入れに理解を示してい るのか不明であり、実現できるのか危惧している。各校2,30名程度の受け 入れであれば大きな問題は起こらないと思うが、100名を超えてくると日々 のお迎えや参観日、運動会の駐車問題が地域の問題になってくるのではな らうか。スクールバスの運行時間が限られており、車でお迎えをするご家庭 が多くなるほど小学校周辺の住民にご迷惑をおかけすることになる。本年 末の市長選や令和10年度の市議会戦で争点(クレーム)にならないように、 教育委員会は御所ヶ丘小学校や郷州小学校の地域住民の方々の理解を得ら れるように説明会を開くべきだと思う。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に 申し訳ありません。 ・学校新設については、用地取得から学校開設まで5～6年掛かることから、 今回の対策としては間に合わないと判断しています。また、社人研の推計は、 移動率として市の人口が急激に増加していた、つくばエクスプレス開通直 後の期間(2005年～2020年)の数値が今後も続くと見込んだ推計であること から、市としてはその結果を参考としながら、企画部署等とも連携して慎重 に推計していきたいと考えています。 ・今後は、黒内小学校のみならず、市内全小中学校が適正規模で推移するよ う、徒歩圏の通学区域の変更や学校の統廃合など、中長期的な視点での方 針策定も進めていく予定ですので、新設はその中での協議事項の一つとして 検討してまいります。
15	松並青葉一丁目	市民の意見を聴くのはミクロの意見で、地域のあり方はマクロの意見が必要 なので噛み合っていないようでした。 調整は大変そうですが頑張ってください。	ご意見ありがとうございます。
16	松並青葉四丁目	もし松並青葉地区の人がスクールバス通学で御所ヶ丘小学校ばかり希望する 方が多い場合は、抽選になりますか？仮に令和7年度新一年生97名全員が希 望しても抽選にならないくらい定員に余裕はあるのでしょうか？こちらは 色々検討して小学校を選択したのに、抽選になって郷州小学校になったら、 仕事の関係上自家用車でのお迎えが難しくなります。かといって帰日もバス となると時間が合いません。働き方を変更するしかないのかなと漠然と思っ ていて心配ばかりです。	・ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。受入れ人数目安は、学校全体 で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増 やす想定の数となっています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、柔 軟な対応を検討していきたいと考えています。
17	松並青葉三丁目	1月時点の案で移動対象になるだろうとある程度覚悟を決めていたが、今回 選択制となり、もうどうしたら良いのか分からない。 市の落とし所としていた案はどうなったのか。 選択制は市が責任を住民に丸投げした様にしか感じられない。こんな実行力 もない案は、やる必要がない。色んな所にいい顔をして、結果黒内の児童数 が減らなかったら何のためにやるのか本末転倒。 その上抽選はあり得ない。子供の人生、親の覚悟をなんだと思っているの か。 本来であれば、説明と謝罪の上、どうか2～4丁目の方は学校変更に関心して 下さい。その上でのもちろん黒内や他の学校も選択出来ます。その後でレー ベン含めた1丁目も受け入れ校に余裕があれば希望を受けます（抽選）。が 筋ではないか。 市の方針変更に関心され続けている住民の気持ちを軽んじている。憤りを感じ る。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしま い、誠に申し訳ありません。また、今回の説明会にてお示した対策 内容が当初案から大きく変更し、混乱を招いたことにつきましてもお 詫言ひ申し上げます。 ・通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選 択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを 考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、 時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始ま でに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていた いただきました。 ・移動先の受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバラ ンスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の数とな っています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、柔軟な対応 を検討していきたいと考えています。大変申し訳ありませんでした。
18	レーベン守谷	中学校の特色、部活含めて検討したいので情報がほしい	・中学校の情報につきましては、現在作成中となっています。出来上 がり次第、市ホームページなどでお知らせしていきます。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
19	松並青葉四丁目	子供は隣同士のお友達と一緒に小学校に通えると信じていました。公立小学校において家が隣同士なのに通う学校が違うと言うのは、異常なことだと思うし、こうなる事が容易に予想ができたにも関わらず、目先だけの対応しかしてこなかった市や教育委員会に強い憤りを感じてます。 子供達の友達関係に影響を与えている上に、松並青葉地区住民だけ負担を背負わせて、市や教育委員会はこれらの責任をどのような形でとってくれるのでしょうか？ また、御所ヶ丘小学校になった場合、御所ヶ丘中学に行くのが殆どだと思いますが、松並青葉から御所ヶ丘中学校に行くのは遠いと思います。松並青葉から御所ヶ丘中学校に行くときはバスがでないようですが、それでも御所ヶ丘小学校や中学校に通へというのでしょうか？ 真剣に市として誠意のある対応をして頂きたい。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 ・当初に市がお示した、通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案(丁目ごとに学校を指定して変更する案)は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・松並青葉地区対象のスクールバス選択制につきましては、登下校時の安全確保という観点もございますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。 ・中学校については、小学校を移動いただいた場合でも希望により本来の進学先である守谷中学校を選択することができます。また、国の基準では中学校の通学距離の目安は6km以内とされており、松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、今後は安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議していきます。
20	松並青葉一丁目	遠方の学校に行くことで少なからず不便が出るのでそのあたりのサポートをいただけるのであれば最寄りでなくてもやむを得ないと考えています。 整理して方針を決めていただきたい。	ご意見ありがとうございます。
21	松並青葉二丁目	そもそも各個人に選択する自由があると思うので様々な情報をもとに判断すれば良いと思う。	ご意見ありがとうございます。
22	松並青葉三丁目	松並青葉地区のみが、黒内小の過大規模校解消のためのコマとされていることに憤りを感じています。松並青葉地区の子どもへの人権侵害です。過小規模校の統合でスクールバス化とは話が異なります。 黒内小の学級数推移では、令和25年時点で児童数1000名を超え、教室数が39となっています。文科省は小学校が12学級から18学級が適正規模と定めていますが、適正規模を逸脱した状況を今後数十年続けるつもりなのですか？黒内小から分離新設することでようやく適正規模校となりうる状況で学校新設を進めていない状況が理解できません。他の自治体の過大規模校の解消への取り組みを参考に、守谷市でも学校の分離新設を実施いただきたいです。ごく近隣のつくば市では、児童数が減少した後に他の用途で活用できるような建物を計画をした上で、研究学園小学校、中学校を新設しています。他の自治体も児童数の減少が起こることは同じです。ふるさと納税で財務上潤っているはずの守谷市が、金銭面と児童数の減少を理由に学校建設を行わないことは、行政及び教育委員会の怠慢です。黒内小の過大規模校の状態を数十年続けることが、守谷の『ニューノーマルな学校教育』なのであれば、未来の教育もりやビジョン2024として、しっかりと公開していただきたいです。 また、スクールバス導入による学校選択制を実施し、令和12年に400人規模(適正規模校1校分)でのスクールバス通学を計画しているのであれば、実際に想定しているルート、時間帯でその人数をバスに乗車させる検証を行っていただき、その結果を公知にしていきたいです。黒内小の小学生に協力をお願いすれば、社会科教育の一貫としてご協力いただけるのではないのでしょうか？令和7年に甘い計画でスタートし、上手いかないので数年毎に計画変更という杜撰な対応を取ることは、謹んでいただきたいです。 以上をふまえ、松並青葉地区の住民に対する対応はひどく、移住者が主である松並青葉地区の住民のために、金は使いたくないという強い意志を感じました。守谷市の市政にも教育にも不信感を持ったので、子ども達に守谷市に愛着を持ってもらいたくありません。そのため、保護者の通勤先近くの小学校に受け入れていただけるよう、守谷市から先方の教育委員会に直訴いただきたいです。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 ・現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。また、学校を建てても今後は児童が減るという可能性が大きいことから、松並青葉地区以外の守谷駅周辺を一体的に踏まえて、今後、市全体で検証し直していく問題だと認識しています。 ・バスルートについては、実際にバス運行を行うバス会社と想定ルートを協議・検討しながら、安全確実なルート決定を進めてまいります。
23	松並青葉三丁目	市全体に学校選択制を広めても良いと思う。また、市の説明は全て決定事項のように感じる。まずは黒内小学校で問題が起きてることを発信すべきだったのではないかな。市として情報発信の仕方は研究した方が良いと思う。 最後に学校選択制とは関係ないが、概算でいいので、小学校を新設するときの予算額が知りたい。	・令和3年度の増築工事の基礎資料であった児童数学級数推計と実績値が令和4年度に相違した時点で、改めてより詳細な推計を行い、対策案決定を優先して検討を開始したため、地域の皆様への周知が遅くなり、大変申し訳ありませんでした。市の情報発信について不足していたことを反省しており、今後は、情報を地域にお知らせできる体制づくり等も検討していきます。 ・学校新設については、用地取得から学校開設まで5～6年掛かることとなります。新設にかかる概算費用は、土地15,000㎡に800～900人規模の学校を建設することを試算した場合、用地取得・造成費から設計、建設費等を総計すると、45～50億円程度となる見込みです。
25	松並青葉二丁目	・就学家庭の意向次第だが、結果として黒内の過大化は解消されず、スクールバス利用者は過少となって非効率を招き、地域の分断を生み、といったような最悪の施策になるのでは？ ・どの小学校になるのか分からない、児童数が過大となり十分な教育を受けられるのか分からない、教師の配置が後手後手となる可能性が高い、中学校も同様の問題が生じる可能性がある、といった状況を踏まえ、もはや市の対応に期待すること自体が高リスクであると判断し、私立小学校に進学すべく準備を進めています。	・現在開催しております事前説明会及びアンケートにていただいた御意見のうち、対応可能な部分を制度設計に反映させるほか、各校の情報発信を行うことで、より多くの方に通学先変更について御検討・御判断いただけるようにご判断いただけるよう進めてまいります。 ・教員人数については、児童数に応じた数が国で決まっており、県独自の加配制度により、市内全小学校で国の基準より多く配置できている状況です。さらに、守谷市は独自で学習支援ティーチャーや介護補助員、音楽・図工・理科の教科専科の先生を配置し、専門の先生が教えている状況で、できる限り目が行き届くようにしています。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
26	松並青葉一丁目	このアンケートも対象家庭全員にポストイット等行い、周知すべきではないか。 選択者が少なすぎた場合、市としてはどうする予定なのか。ある程度強制力もしくは余程のメリットが無いと、他小学校を選択する人は少ないと思う。現段階ではデメリットのが多い。 個人的には、駅前にできた民間学童(Omeno等)に優先的に入れる等があれば考える余地が産まれる。(黒内小以外を選択した松並地区児童が優先で入れて、学校から学童までのバス送迎付き)	・4月13日の説明会については対象者全員に個別通知いたしますので、意向調査はその際に改めて実施したいと考えています。 ・黒内小学校の児童数増加が継続することが見込まれる場合、敷地内へのプレハブ設置、休み時間等の近隣公園利用を検討するほか、北園交差点の混雑を緩和するため、時差登校の継続、交差点回避ルートでの登下校等を実施していきます。 ・児童クラブについては、原則移動先の学校敷地内の児童クラブ利用となりますが、民間学童の利用が可能かどうか、その学童の定員もあると思いますので、担当部署と協議してまいります。
27	松並青葉三丁目	選択制にした時点でどんな情報を与えられても決めることは困難。 地域によって学校を決めてくれた方がまだマシと思うレベル。 兄弟が別々になってしまう家庭は選択にすればいい。 じゃないと近所の家庭がどうするのかわ見えずに自分の子供が一人ぼっちになる可能性だってあるわけだからいつまでたっても決められないと思う。	・ご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 ・当初に市がお示した、通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。
28	松並青葉三丁目	学校選択制には賛成です。 ただ、完全に選択制にするのではなく、「当初のように三丁目は郷州です。ですが、希望があれば学校を選択して他に行ってもいいですよ。」という風にだいたいの学区を決めてほしいです。そうでないと、地域の中でコミュニティを築くことが難しくなるため、子供が可哀想です。 例えば、三丁目の全員が御所を希望し、自分の家だけ郷州という可能性もなくはないですね。 よって、完全に選択制にすることは断固反対です。	・ご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 ・当初に市がお示した、通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。
29	松並青葉四丁目	大人の事情は理解しましたが、重要な事は、子供たちが6年間の学校生活でどう感じるかだと思います。主語は子供だと思います。スクールバス、選択制、申し込み状況によっては抽選になる事により放課後友達と遊びづらくなる事や登下校などでの友達との時間が少なくなる事が議論から抜けている事が非常に残念に思いました。それに代わる何かを市としてサポートできないのか、議論をして欲しいと切実に思います（抽選で近隣の友達と離れた場合、6年間スクールバスで帰宅後、家にいる事に可能性があると思いますが、それが発育上良い事かどうかは明らかだと思います）大人の事情ではなく、他にも子供の目線で足りない部分がないか、しっかりと考えて頂きたいです。議論のファクターが不足していて、現段階ではどこの小学校にするかなど何とも言えません。	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態となり大変申し訳ありません。 ・通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・放課後については、移動先の学校での放課後子ども教室について、参加費を市負担とすることで利用しやすくすることで、学校の友達と遊ぶ時間を確保できるよう検討しています。また、地域における友人関係構築の場となるよう、駅東側への児童センター等の設置についても、担当部署と協議して検討してまいります。
30	松並青葉三丁目	上の子が在学中になるため、同じ黒内に通わせたい。近隣の子と違う学校になって通学や遊べるお友達がなくなるのが心配。	・選択制ですので、黒内小学校へ就学できます。 ・地域における友人関係構築の場となるよう、駅東側への児童センター等の設置について、担当部署と協議して検討してまいります。
31	松並青葉三丁目	つくばみらい市のような新設小学校はありえない話でしょうか 黒内小学校を二分化など 選択制にしても現状は変わらない気がする 近所の子と小学校が違うと友人関係等問題が発生しそう	・市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 ・現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。 ・地域のお友達と気軽に遊べるよう、駅東側への児童センター等の設置について、担当部署と協議して検討してまいります。
32	松並青葉二丁目	御所ヶ丘小学校に入学した場合に、交友関係の観点から御所ヶ丘中学校に進学したいと考えている。その際に通学路の安全が確保されていないと感じる。松並青葉から御所ヶ丘中学に自転車で行く場合に、ローソンつくばみらい筒戸店から新守谷南の交差点に行くルートが考えられるが、一部歩道が無い場所がありとても危険。どのような通学路を想定しているのか教えてほしい。そのほかのルートとして、丸亀製麺の裏から線路を渡って松並青葉に抜けるルートも考えられるが、踏切が無く、人通りも無いため安全面や防犯性の観点で非常に心配である。通学の安全性を向上させるための道路整備をしてもらえると嬉しい。 また中学生になってもスクールバスの利用を継続できるようにしてほしい。さらに、中学校の部活終わりの時間に帰宅用のバスを1便用意してくれると助かる。 御所ヶ丘小学校に令和6年度に車で送り迎えする際に、車からの乗降場所と時間は決まっていますか？路上に停車して乗降すると危ないのでできれば学校の敷地内で他の生徒の安全にも配慮された場所で乗降させたいです。また、何時から登校していいのかも教えてほしいです。	・中学校の通学距離の目安は6km以内とされており、松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、現時点ではスクールバスによる通学は考えていません。 ただし、通学路の安全性確保を望むご意見は多く寄せられているため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。 ・御所ヶ丘小学校へのバスの乗入れは通用門を予定していますので、令和6年度に保護者送迎される場合も使用できるか等、確認してまいります。
33	レーベン守谷	東京から移住予定で、来年度レーベン守谷を購入します。守谷市は子育て支援に消極的としか考えられません。なぜ高齢者にばかり手厚いのか。なぜいまだに暴走族が闊歩しているのか。行政の失敗であり首長や幹部はなぜ責任を取らないのか。	・ご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
34	松並青葉二丁目	今回の説明会参加で、今まで黒内一択であったが、御所でもいいかなと思った。しかし、子供に聞いた所、近所のお友達と同じ黒内が絶対にいいと言われた。親が御所でもいいかなと思っても、子供が反対すれば、無理して行かせることはできないかなと思った。子供にとって、それぞれの学校がどんな所かより、知っている子がいるかいないかがすべてな様である。見学会では、お友達同士で集まって見学をすることで、移動の検討者が増えるのではないかなと思った。（お友達が行くなら、移動しようかな、また、お友達が黒内なら、みんな黒内かな、という状況） 前回のアンケートでの案が2～4丁目を対象であると明記されていたので、レーベンや1丁目のご家庭はどこか他人事のような方が多い印象である。その部分は失敗だったのではないかな。選択制に変わったが、私達は黒内に行けるから、説明会にも行かなくていいかな～という感じであった。 ホームページ上に情報を上げて、見ない人が多いのではないかなと思う。比較資料や選択制にあたっての資料を各世帯に送付した方がいいのかなと思った。 放課後子供教室の金額を市が負担してくれるという内容があったが、メリットの一つかなと思った。実際にどんなことを行っているのかを知りたい。 松並青葉地区からの移動者が少なかった場合、クラスの中で、子供が少数派になる可能性があり、いじめにあったり、仲間はずれにあうのではないかと心配している。クラスをバラバラにせずに、まとめておくなどの考慮はあるのか。親も1～2年の間は松並青葉地区を同じクラスにまとめて貰えると、情報共有や、輪が作りやすいかなと思う。 中学の情報も同時にほしいです。御所小を選択するということは、御所中を選択することにも繋がるので。道路の整備計画も同様です。	・ご意見ありがとうございます。 ・移動人数が2～3人など少なかった場合は、同じ学級に編制することは可能と考えます。人数によりどのようなことが対応できるかは変わってまいります。が、できる限り配慮することができるよう担当部署や学校と検討してまいります。 ・中学校の情報につきましては、現在作成中となっています。出来上がり次第、市ホームページなどでお知らせしていきます。 ・通学路の安全性確保を望むご意見は多く寄せられているため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。
35	松並青葉三丁目	市全体の課題なら市全体で考えてほしい。豪州小学校なら、守谷小学校学区の子の方が通いやすいし、守谷小の子を動かした分空きが出たら黒内の子を移動するなど。	・黒内小学校の現状は、喫緊で対応しなくてはならない課題であるため、今回このような対策を示させていただきました。 ・今後は、黒内小学校のみならず、市内全小中学校が適正規模で推移するよう、徒歩圏の通学区域の変更や学校の統廃合など、中長期的な視点での方針策定も進めていく予定です。
36	松並青葉四丁目	学童は松浪青葉あるいはその近くで行っていただけると助かります。また、バスの時間を増やして欲しいです(特に学童)。バス停は商業施設が乗車場所になったとしても、各丁目も回って欲しいです。このアンケートの丁目別の希望小学校状況を教えていただきたいです。	・児童クラブについては、原則移動先の学校敷地内の児童クラブ利用となりますが、駅前の民間学童の利用が可能かどうか、担当部署と協議してまいります。 ・下校時のバス運行時間は、再度検討してまいります。 ・登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。 ・今回アンケートの結果については、丁目ごとにお知らせしてまいります。
37	松並青葉四丁目	2/17の説明会に参加しました。正直かなりがっかりです。住民の意見を聞く気は最初からないんだなと受け取りました。①選択制にあたり、超過の場合は抽選とのことですが、抽選に漏れたら黒内小なののでしょうか？市からの依頼で仕方なく学区外の学校を選択したにも関わらず元も子もないと思います。②放課後こども教室を無料開放する、とのことですが、そういう問題ではありません。友達の家でゲームをしたりおもちゃで遊んだりが重要です。ランドセルを家に置いて、各自の遊び道具を持って友達の家に行くのが普通ですが、松並青葉の子はそれができなくなります。もしくは、ゲームを学校に持って行っても良いことにしますか？逆に全員友達の家に行くのを禁止しますか？学校で遊べれば良いのは低学年だけです。③北園交差点は県がお金を出してくれないから歩道橋が作れない、というのはナンセンスすぎます。確実に必要なのですから、県に必死に掛け合うか市でお金を出すべきです。④選択制により、みんな黒内を選択したらどうするのですか？⑤スクールバスルートですが、つくば国際松並保育園の前の道も、みずきの方面へ向かう車線が渋滞してます。また、各バス停を回ってくるによりバスが遅れた場合親の仕事にも影響します。 ⑥今からでも、駅前の新設ホテルの一角を買い取って学童なり児童館なりを作るべきだと思います。正直ランチもあの微妙なラインナップと店舗数なのであればあそこに小学校を建てられたのではないのでしょうか。グラウンドは屋上など利用できると思います。⑦これ以上開発する土地はないとのことでしたが、南守谷にも今マンションが建っていますので郷州小に影響すると思います。294沿いなど、店舗を潰してマンションが建つ、などの可能性も無きにしも非ずではないのでしょうか。駅前の建設中マンションの学区はどうなりますか？その人たちは黒内なののでしょうか。それも変な話だと思います。⑧本当に3月に議決するのですか？意見を聞くだけ聞いて取り入れる気はさらさらないですと言っているようなスケジュールにしかみえません。計画性が無さすぎます。そもそも事前の意見交換会？は当事者入っていないのではないのでしょうか？黒内の数を減らすことしか考えていない人たちだけでこの案が練られていることに不信感しかありません。⑨事前アンケートにもどなたか書かれていましたが、新参者松並青葉は外様扱いされていじめの対象になることが予想されませんか？かなり不安です。古い地域だと余計にPTAなどもしがらみが多いのではないのでしょうか。⑩学校選択とはずれるかもしれませんが、避難所としても黒内はパンクするのではないのでしょうか。松並青葉の公的機関が無さすぎます。避難所、児童館、図書館、郵便局、最低限エリア内に必要です。	①移動先校の受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。ただし、可能な限りご希望には添えるよう、柔軟な対応を検討していきたくと考えています。 ②ご意見のとおり、子どもたちの遊びの時間確保については、継続して検討していく課題として認識しています。今回予定している放課後子ども教室は、専門の支援員や地域の人たちと様々な遊びや体験ができる事業で、コロナ禍前までは比較的高学年も利用していたと聞いています。しかし、再開後しばらくは利用者数等が把握できないため、中学年までの利用として様子を見ていくこととなっていますので、子どもたちの声を聞きながら対応を検討してまいります。 ③北園交差点は道路管理者が県となっております。歩道橋については設置を断念した経緯がありますが、今後も再度要望してまいります。 ④黒内小学校の児童数増加が継続することが見込まれる場合、敷地内へのプレハブ設置、休み時間等の近隣公園利用を検討するほか、北園交差点の混雑を緩和するため、時差登校の継続、交差点回避ルートでの登下校等を実施していきます。 ⑤バスルートについては、実際にバス運行を行うバス会社と想定ルートを協議・検討しながら、安全確実なルート決定を進めてまいります。また、登校時のバス停は、現在、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設の駐車場をお借りすることを想定しています。 ⑥現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。また、学校を建てても今後は児童が減るという可能性が大きいことから、松並青葉地区以外の守谷駅周辺を一体的に踏まえて、今後、市全体で検証し直していく問題だと認識しています。 ⑦南守谷の共同住宅については、郷州小学校区という形で今回推計値に算出しています。また、守谷駅土塔口に完成した共同住宅については、今年度の審議会において守谷小学校区への変更を決定しています。開発情報については担当部署と情報共有を行い進めているところですが、ご意見のとおり、小規模な開発も含め、将来どのような状況となるかはわからない状況です。で、今後は、黒内小学校のみならず、市内全小中学校が適正規模で推移するよう、徒歩圏の通学区域の変更や学校の統廃合など、中長期的な視点での方針策定も進めていく予定です。 ⑧意見交換会は、松並青葉地区の町内会長さんを通じて回覧等で開催周知を行っていただき、地区内の方々に参加していただきましたが、十分な周知期間が取れず、参加者数が9名と少なかったことを反省しております。 ⑨移動先となる御所ヶ丘小学校、郷州小学校とも、都市計画により開発された地域の学校です。学校内での友人関係については、十分な目配りを行ってまいります。 ⑩黒内小学校の避難施設としての収容人数規模や駅東側の公共施設数の課題については、企画部署等と情報共有し、市全体で協議してまいります。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
38	松並青葉一丁目	本件が市からの要請か提案なのかわからない。選択を受け入れた場合の抽選というのが理解できない。結局たらい回しにされて、通えないような場所になるのでは？一番の希望は学校新設を強く希望する。	・ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、柔軟な対応を検討していきたいと考えています。 ・現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。また、学校を建てても今後は児童が減るとい う可能性が大きいことから、松並青葉地区以外の守谷駅周辺を一体的に踏まえて、今後、市全体で検証し直していく問題だと認識しています。
39	松並青葉四丁目	選択制だと、近所の仲良しの子達と違う学校に通う可能性があるため(みんなどここの小学校にしようと約束しても、定員超過になった際の抽選により自分の子どもだけ違うところになってしまった。ということは避けたい)、地域ごとに学校を決定してもらった方がありがたい。	・ご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 ・当初に市がお示しした、通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 ・近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。
40	松並青葉三丁目	守谷中の教室も不足するように思うが問題ないのか？説明会の中でバスの乗車場所を1箇所にするような説明があったが、ベニマルまで遠いので、現状の停留所を使用する案の方が良い。	・守谷中学校は昨年度増改築しており、現在15学級ありますが、保有教室は25学級分確保できているため、推計上は大丈夫ですが、上振れの可能性もあるため、小学校在学中に意向調査をさせていただき、不足が見込まれる場合は早急に増築を検討します。場所は、プール跡地を利用し、校庭はつぶさない計画を立てています。 ・登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。下校時のバス停は、地区ごとのモコバス停留所付近を検討しています。
41	松並青葉一丁目	移行を希望した児童のみ放課後児童クラブの利用料を無償化するような説明があったが、そうするとまた松並青葉だけとなりかねない。利用者全てを無償化することは検討できないのか。併せて都内で実施している給食費の無償化などを実施する予定はあるのか。	・放課後子ども教室の参加費負担は、居住地から離れた学校に通うお子さんの放課後の遊びを確保することを目的としているため、松並青葉地区限定とすることを予定しています。 ・給食費の無償化は、現在実施の予定はありません。
42	松並青葉四丁目	根本的な対策ではないと思います	ご意見ありがとうございます。
43	松並青葉四丁目	選択制じゃなくてスパッと行政が決めたほうが良いと思う。批判を恐れているのか知りませんが選択制にしたところでかわすことはできません。選択制にしたことによって人数に偏りが生じた場合、そのリカバリ案を持っているようには思えません。	・通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。ご理解、ご協力を何卒お願いいたします。 ・黒内小学校の児童数増加が継続することが見込まれる場合、敷地内へのプレハブ設置、休み時間等の近隣公園利用を検討するほか、北園交差点の混雑を緩和するため、時差登校の継続、交差点回避ルートでの登下校等を実施していきます。
44	松並青葉二丁目	当初、スクールバス導入には賛成の立場で、御所ヶ丘小学校への通学を考えておりましたが、説明会を通して、考えが変わりました。スクールバスについて、安全に運用できるのかというところに、不安を覚えたためです。 ・ノウハウについて、そのまま参照できる他の自治体等の前例がない。 ・市でバスを購入し運転手や添乗員を直接雇用するわけではなく、業者に委託する点。 ・委託業者に対する、日常的な安全チェック体制はどのようにするのか。責任の所在。 ・リスクについて、平常時のみならず、非常時（運行中の事故、災害など）の対応マニュアルの有無。 ・集合、解散場所における、安全確保と、近隣住民の理解。（騒音、敷地への侵入など。） スクールバスの導入自体は通学時の安全上良いと考えているため、利用するか否かについては、実運用を見て、判断したいと考えています。 黒内小学校は「人数超過のため（それ以外の理由はない）」、学校の変更に協力します。 しかし、スクールバスは不安であるため利用しない、という家庭も、児童数超過問題に対して協力しています。 説明会でも意見として出ておりましたが、ガソリン代や親の送迎時間と労力に対して、何らかの補助があっても良いのではないのでしょうか？ スクールバス運用が信用できないのは、親の価値観とは別物だと思いますので。 もしくはもういっそのこと、スクールバス運用は縮小し、親の送迎前提でひと月1万円など補助を出すので、みなさん行かせたい小学校に変更してください、という方が平等ではないかと思ったりします。	・過大規模校対策としてのスクールバス運用事例は調査した範囲では見つけられませんでした。県内には40台以上のスクールバス運用を行う自治体もあり、既にヒアリングを行っております。 ・バス車両については、市で購入した場合、今後の駐車スペース確保などが困難となるため、現在リース等で対応する予定ですが、運行や安全対策を業者に丸投げすることはせず、チェック体制等も含め、他自治体事例を参考に 対応していく予定です。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
45	松並青葉三丁目	①バスの集合場所がバス停かベニマルを検討とのことでしたが、自治会館という案はないのでしょうか？子供達の安全面を考えると、自治会館は最適な場所ではないかと感じました。 ②子供会は登校班ごとに分かれたりなどがあると聞いたことがあるのですが、子供会は学校が分散されると、どこの子供会になるのでしょうか。 ③いろいろな学校がある中で、学区外の学校も選択できる機会が得られることは良いことでもあると思っています。分散させる為にも、大変だと思いますが、学校毎の特徴（良い面、悪い面含む）を情報の偏りがないように提示していただければと思います。よろしくお願いします。	①登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討しています。また、下校時のバス停は、地区ごとのモコバス停留所付近を検討していますが、松並青葉地区内の自治会館付近へのバスの乗り入れが可能なら、バス停候補の一つとして検討させていただきたいと思います。 ②子ども会は地域の任意団体のため、加入は保護者の方の判断となります。通常は、お住いの地域の子ども会に入会される方が多いと聞いておりますが、ご希望があれば、移動先学校の地区の子ども会への入会も可能と思います。 ③学校ごとの情報は現在作成中で、完成次第、市ホームページ等で掲載してきます。各学校を客観的に比較することができるよう、まずはデータ化してお示しし、4月以降、学校紹介動画を公開して、学校の雰囲気がわかるようにしてまいります。
46	松並青葉一丁目	中学校の情報もかなり重要。中学校の説明会もして欲しい。	現在、中学校の説明会は予定していませんが、HPにて中学校情報も公開していきます。
47	松並青葉四丁目	高学年（4～5年生）で学校を変更した場合、学校に馴染めるか心配。どのような対策を取っていただけますか？また、卒業アルバムはどうなりますか？我が子だけ居ない写真ばかりになりますか？	対象学年は令和7年度新1年生からとなり、在校されている方は、特に希望されない場合は黒内小学校にそのまま通学いただくこととなります。途中の学年で学校変更いただく場合、学校になじめない等のご不安についてはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどが窓口となって相談対応させていただきます。また、卒業アルバムについては、大変申し訳ありませんが、変更先の学校での活動写真となりますので、変更の時期が高学年になる程、写真は少なくなりますので、御理解ください。
48	松並青葉二丁目	①スクールバスが導入される学校に通学させたいと思っていますが、守谷小は対象外ですか。 ②守谷市全体で同じ学用品とし、体操服を業者指定無しにできませんか。 ③松並青葉地区の子ども達の希望状況を知らせていただきたいです。	①守谷小学校は松並青葉地区から徒歩圏内であるほか、学区として駅周辺地区を含んでいることから今後も一定数の児童数の通学先となることが見込まれるため、スクールバス通学先としませんでした。 ②現在、小学校間で仕様が異なる学用品は、体操服・上履き・名札となっております。守谷市では、転校先でも元の体操服は使用できることとなっておりますが、御意見のとおり、今後は仕様の統一などを検討していきたいと考えています。 ③近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を行ってまいります。また、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化（地域ごとで学校を決めていく）していくことも可能ではないかと考えております。
49	松並青葉一丁目	就学先変更を検討しましたが、スクールバスの朝の集合時間が早すぎる（今の徒歩通学の7時40分集合でも遅刻しがち、都内在住の頃は8時に家を出ていました）、各校の特別支援学級の様子がわからない、上の子は既に黒内に通って満足しているためいったん見送りました。ただ、低学年の頃は休み時間の校庭での衝突事故が多く怪我もたびたびありました。この先黒内で深刻な不都合を感じるような場面が出てきた場合は、自家用車の送迎も視野に入れて転校を検討したいと思います。選択肢があるのはありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 スクールバス通学先（御所ヶ丘小・郷州小）以外の学校も選択することができますので、ご家庭のご事情に応じてご選択ください。
50	松並青葉三丁目	郷州小へ変更を考えています。変更するのであれば1年でも早く変更したいのですが、令和6年度の自己送迎がネックとなります。令和6年度、郷州小へ通う児童向けにモコバスを無料で利用させていただきたいです。	令和6年度は学校変更いただける人数が少ないことが想定され、新1年生が一人でモコバスを利用することについては、安全性の点からお勧めできないと考えていますが、原則は保護者送迎であり、送迎が不可能な場合にのみモコバスを利用する、または慣れるまでは保護者等に同伴いただくなどの条件付きで、モコバス利用を可とし、お子様の運賃を無償化することを検討していきます。
51	松並青葉四丁目	令和7年度に限れば①スクールバス運用による学校選択案はどうしようも無い落とし所とも思える。しかし確実に渋々である。 実際、②これまでの経緯を含め納得感は皆無である。説明会でも新設の希望はかなりの数が出ていたと思うが、③『「中長期的に」「慎重に」検討を進める』との行政の常套句的な回答では、まったく誠実さに欠けると言わざるを得ない。 せめて、④その議論を「守谷市全体で」いつから開始するかを示した上で議決を迎えるべき。常識的には、令和6年度から審議を開始するのが妥当と考える。 黒内小学校の教育環境の悪化を松並青葉地区の住民に皺寄せして解決を図るというだけでは、頭を下げられても酷いと感じざるを得ない。⑤当地区の住民の難しい判断とそれに付随する苦労は、最低でも新設の本格的な議論と引き換えにするのが妥当であり、住民の苦労が報われる「結果」ではないか？（もちろん早期新設決定・実現がベスト） ⑥一部の住民に苦労を受け入れさせることで、黒内小学校の環境が改善されて良かったね、という結果を期待するのは見通しが甘い。甘さによるこれまでの二の舞いを危惧する。 松並青葉地区の住民の判断と苦労が根本的な解決策を動かすことを願ってやまない。結婚式場跡地を買収してスワローズのための周辺設備も整える予算があるなら、⑦小学校の一つも建てる予算は十分あるはず。 というか、教育委員会の皆様も、新設が根本的な解決策だと分かっていますよね？複雑な事情が絡み合って動きにくいだけで。本格的に動くべきは我々市民かもしれません。	お子様の通学先にご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっておりますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
54	松並青葉二丁目	1.強制的にスクールバス利用にすることはないという点で評価できる。 ただし、松並青葉の子どもなのに何で黒内にいるの？スクールバス使えば？という意識が芽生えないようにしっかり管理していただきたい。 2.今回のスクールバス利用による学校選択制を導入しても、黒内小学校問題の根本的解決にはならないと考えるため、小学校適正配置のための小学校新設を進めるべきである。 校舎は小学校として10年使い、その後公民館や老人施設として利用したらよい。 運動会ができる程度の運動場は、校庭に限らず別途用意することを考える。差し当たっては、新守谷地区開発地、ランチ、前川製作所の敷地内などの期間限定利用など、真面目に企画、交渉すべきである。 3.例えば説明資料の28頁最下行、「体調不良になった場合は適切に対応」は当たり前のこと、そのために何をするかを早く決めて周知してください。 カウンセラー配置の件も、追って問題が表面化して対応を考える、というようなフジマキさんの回答であったが、我々が求めているのは、現状に対してこのような心配や課題があるのでこう対策する、といった計画である。企業であれば当然考えるリスク管理である。 4.最大で大型バスが5台並ぶ状況はその地域にとって迷惑であり安全性に問題がある。 5.子どもは誰でも健常なわけでは無い。義務教育の範囲では落ちこぼすことのないよう最新の注意を払ってシステムや制度を考えてください。以上	1. スクールバス通学は選択制であることを、黒内小学校全保護者に再度周知し、懸念されているようなご心配をお掛けしないよう学校と協力してまいります。 2. 現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。 運動会場については、これまでも常総運動公園などを検討してまいりましたが、保護者の皆様のご意向も踏まえ、自校としてきた経緯があります。今後も、学校と協議して進めてまいります。 3. 車内での体調不良者発生などのトラブルについては、添乗員に事前に研修を行うとともに、現在調査・作成中のスクールバス緊急時対応マニュアルに基づき、適切に対応させる予定です。また、市では、令和6年度からスクールソーシャルワーカーを増員し、学校変更に伴う子どもたちや保護者の皆様の不安感などをはじめ、各種相談の対応体制強化を図ることとしています。 4. 登校時は商業施設の駐車場を使用するほか、下校時は学年による下校時間の違い、放課後子ども教室及び児童クラブ利用有無などで、登校時と同数のバスが一斉に運行することはないことが想定されます。下校時のバス台数が確定次第、地域の皆様のご迷惑にならないような場所（他自治体では集会所付近など人が集まる場所などに設定されることもあるようです）を検討していきます。 5. 子どもたちの健やかな成長は市の最重要施策と認識していますので、今後も一人ひとりに目が行き届く学びの場を確保できるよう、検討してまいります。
55	松並青葉四丁目	説明会に参加させていただきました。松並青葉の都市開発を進めた時点で、住宅と共に松並青葉内に小中学校を増設していれば、このような大惨事にはならなかったのではないのでしょうか。子どもたちが、一番の被害者です。子どもは、未来の宝です。もっと真剣に誠実に、対応して頂きたいです。 今回のようなことになり、市として都市開発の見通しの甘さに、不信感を感じました。保護者として、守谷市の為にできる限り協力していきますが、バスの運行などしっかりと実際に検証した上で、子どもたちの安全第一で進めて頂きたいです。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちの安全、また、より良い教育環境確保のため、実施可能な最善の策を検討します。
56	レーベン守谷	2/23の説明会の話を伺いましたが、やはり松並青葉の小学校を建設するのが1番良いと考えます。北園の交差点通学の問題解決、黒内小在校中の問題解決、全ての問題がクリアになります。新しい学校建設にあたり、土地が無いとおっしゃっていましたが、東京都港区では土地が無い中、ビルの小学校が建設されています。運動場もプールもビルの中にあります。他の市区町村を見渡せば出来ないという事は安易に出てこないと思います。バス通学の導入が選択制になりましたが、果たして選択する人がどれくらいいるのか。。。選択制にした事で、自分には関係ないと思った人は多いかと思います。だから説明会に来ない人もいると思います。 今回の市の対策案を聞き、正直後ろ向きすぎてガッカリしました。	現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。
57	レーベン守谷	なぜ、学校新設の方向で対策を進めないのかについて、具体的な理由を詳細なデータと共に示して欲しい。 また、その理由(課題)を開示した上で、課題解決に向けて何が必要なのか、あるいは解決が難しいと判断するのかについて住民(市民)が納得できるまで議論させて欲しい。 行政の内々だけで自己解決せずに、本件の当事者である我々住民にも意思決定の権利と責任を担わせて欲しい。 この街の未来について責任を負うべきは住民である私達だと思う。	現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、令和7年度からの教室数不足等の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。 通学区域審議会の構成員には、該当地域のまちづくり協議会から選出された方やPTA会長等も含まれており、今後は、委員の皆様にご協力をお願いして、審議経過等を地域に広く開示し、早い段階から地域の皆様のご意見をお聞きする場などを設定していきたいと考えています。
58	松並青葉三丁目	2/18(日)13:00～の説明会に参加しました。資料も説明もとても分かりやすかったと思います。候補二校の校庭・校舎・体育館設備や、教育方針等も参考になりました。 最後、質疑応答中の皆さんのクレームのような意見の数々が聞くに耐えず、途中退室してしまいましたが、バスに文句がある人は黒内小学校も選べるんだからそちらに行けばいいのに、と思いました。 バス停については、商業施設(ヨークベニマルですよね?)が案に出ているそうですが、それだと自宅から遠い家もあると思うので、モコバスのバス停も並行して止まってもらえると嬉しいなと思いました。 色んな親御さんがいて、教育委員会の皆様も日々大変かと思いますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。4/13の説明会もぜひ参加させて頂きたいと思っています。	ご意見ありがとうございます。 登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。また、下校時のバス停は、地区ごとのモコバス停留所付近を検討していますが、松並青葉地区内の自治会館付近へのバスの乗り入れが可能なら、バス停候補の一つとして検討させていただきたいと思います。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
60	松並青葉一丁目	市としては松並青葉の住民に極力郷州もしくは御所ヶ丘に就学先変更を依頼すると拝見した。この押し付けは当該住民と児童にとって大きな負担であることは明らかで、バス運行の体制を十分に整備することは最低限の当然やらなければならない事。その上で、就学先変更に関与する場合にはランドセル支給や体操服・学用品支給などのメリットをつけるべき。それすらやらず協力を仰ぐだけでは『別に市もそこまで本気じゃないんだな』という印象。本来の就学先に安心して就学できなくなったのは全て市の怠慢。住民にしわ寄せが来てるのだから可能な限り支援はすべき。何もなく協力を仰ぐなんて傲慢。	お子様の通学先にご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 学校変更にかかるインセンティブについては、説明会等でも多くの意見をいただいております。現時点では、放課後子ども教室の参加費無償化、スクールバスとは別にモコバス等を利用する際の運賃無償化を予定しておりますが、そのほかに適切な支援としてできることを検討してまいります。
61	松並青葉四丁目	説明会に参加するまでは黒内以外を検討したいと考えていましたが、他の学校に行く選択ができないと思った。 他の学校の教室があるから行ってくださいということだけだった。デメリットやそれに対する解決策などが全く示されていないので、他の学校に行ったら常に新しい問題が起き、想定外と言われる未来しかみえない。 質問 ①松並青葉の住民のみ学校を選択制にすることで、黒内小の人数が減らない場合、松並青葉のせいになされることへの学校はどのように生徒に指導するのか。行く権利がある公立学校に行くだけなのに肩身の狭い思いをすることにならないか。 ②新しい学校の創設は5年近くかかり難しいとのことであったが、守谷市としては人口増加を想定しているのであれば駅近くの学校は必要ではないのか。 ③新しい学校ができないのであれば、黒内小の分校や別校舎という形で近くの土地に校舎を作れないのか。一時的な学校として後々老人ホームなど他の施設にするなども可能ではないのか。 ④黒内小は特別支援学級数が想定より増えたため教室数が足りなくなったとの話があったが、他の小学校では同じことは起きないのか。 ⑤バス停を1箇所にする事で学年が増えるにつれて人が増えて渋滞につながらないか。バス停1箇所はやめて欲しい。	お子様の通学先にご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。 ①スクールバス通学は選択制であることを、黒内小学校全保護者に再度周知し、懸念されているようなご心配をお掛けしないよう、学校と協力してまいります。 ②③現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、今回の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっておりますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。 ④特別支援学級数は市内全小学校で増加傾向にあります。令和5年度の推計は最新の増加率で教室数を算出しておりますが、今後も教室数不足とならないよう全校を対象とした推計を継続実施し、早め早めの手を打つことができるようにしてまいります。 ⑤登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。毎年度、バス台数が確定した時点で、バス会社と協議して可能な限り渋滞を回避できる場所、ルートを検証していく予定です。
62	松並青葉三丁目	地域内で異なる学校に通うこととなるため、以前の案のほうが意味があったように思うが、急に変更してもう決定事項、というのは横暴が過ぎる。結局は選択を親に押し付け、行政が責任から逃れるため施策としか捉えられない。市長の年給挨拶とは180度異なる対応となっている自覚があるのか。行政が責任を持って決定し、不利益を上回るメリットを提供して納得させるのが筋である。松並青葉の価値には教育環境、周辺が同年代となる点が大きかったはずで、それをウリにしていたはずである。その前提を崩すのなら、地価も見直されて然るべきである。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。ご理解、ご協力を何卒お願いいたします。
63	レーベン守谷	説明会にて松並青葉全体が区割りから選択制となり、黒内を希望すれば黒内で確定である事が分かったが、周知がされておらず地域住民は各々認識が違っている状態である。ネット検索においても過去の情報が出てくる事から情報が錯乱している現状を鑑み、守谷市HPのトップページに固定してアップすべき。黒内のマンモス化においては黒内に隣接している南側の土塔森林公園及び西側更地の有効利用が妥当であると思慮される。当然ながらマンモス化の対策案として動いたと思われるが、この2ヶ所にプレハブ増設が出来ない理由を明確に表記し周知する事は、今般の騒動の発端である守谷市としての義務である。表記方法は①所有者は誰であるかの表記（謄本申請すれば誰でも確認できる事であり個人情報ではない。住民が各々謄本申請では費用がかかる。謄本申請すれば確認できる事を知らない人もいる）②所有者に交渉したが断られたのか、交渉もしていないのか③森林公園は都市計画にて緑地でありプレハブも建設出来ないのであればその理由を誰でも理解できる説明での表記④緑地である事に対する担当行政との交渉経過の表記⑤許可が降りた場合の増設スケジュールの表記⑥この問題に対する市長並びに市議の考え（打開策を含む） 増設に伴う基礎工事は市長の関連会社にて、いくらでも早期対応が可能である。問題の発端である守谷市の代表である市長の手腕が試される。最後に、このアンケートの内容が表に出る事で説明会での謝罪の本気度が伺えるのものとと思慮されます。子供には可能な限り平等な教育環境を与えて下さい。お願い致します。	学校選択制の情報については、教育委員会にて議決後、積極的にホームページに公開するとともに広報掲載を行うほか、地域の皆様に十分周知できるよう個別通知などを検討していきます。 黒内小学校の西側については、令和4年度に第2グラウンドとして活用できないか所有者と交渉しましたが、条件面で折り合わず断念した経緯があります。 南側の土塔森林公園につきましては、公園・都市計画担当課とも協議した結果、緑地保全を目的に整備された公園であり、都市計画マスタープランでも大規模公園・緑地等に位置づけられ、市の保存緑地に指定されているとの話がありました。自然の雑木林を生かした造りであることから、周辺住民や地域の保育所入所児の散歩場所として利用され、多くの市民の憩いの場となっています。一度伐採し造成を行うと、あのような自然を生かした公園には戻りませんので、増築の場所として適切ではないと考えます。よって所有者に対し交渉はしておりません。 所有者情報については、情報を知りたい方が法務局等に申請をして知り得るものであり、ホームページ等で積極的に公開するものではないと考えます。また国の機関である個人情報保護委員会でも登記情報も個人情報の一つであるとの見解がなされておりますので、こちらでの公開はいたしません。 今回の意向調査に寄せられた自由意見への回答は、すべてHP上で公開してまいります。お子様の通学先にご不安、ご心配をお掛けして大変申し訳ありません。市としましても、お子様のより良い教育環境確保のために実施しうることを検討してまいりますので、御理解、御協力の程よろしくお願いいたします。
64	レーベン守谷	そもそも新設せずにスクールバスで対処しようとしていることに反対ですが、こうなってしまったことには仕方ないので従いますが、選択制はやめていただきたいです。 結局子どもを孤立させないために周りがどこに行くかに合わせることになるかと思いますが、フルタイムの共働きで保育園ママとの関わりも薄くそんなことを調整している時間はありません。 ①レーベン2棟②戸建てエリアで分けて強制的に決めてもらった方が良いです。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。ご理解、ご協力を何卒お願いいたします。 近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を行ってまいります。また、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化（地域ごとに学校を決めていく）していくことも可能ではないかと考えております。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
65	松並青葉二丁目	1.我が家は上の子が令和6年度に新1年生です。近隣公園の一時占用やプレハブ設置は令和7年度で検討中とのことですが、令和6年度中に実施されることはないのでしょうか？黒内はすでにパンク寸前と聞いているので、令和6年度中の対応もご検討いただけますと幸いです。 2.北園交差点を通りたい車が減るように、別の道路を作ったり整備したりすることはできないのでしょうか？	1. 近隣公園の一時利用及び北園交差点回避通学路ルート of 検討は、令和6年度から実施する予定で進めております。プレハブについては、設計から建設まで期間を要するため、令和6年度中の利用には間に合いませんが、令和7年度早期開設に向けて準備を進めています。 2. 現在、北園交差点に変わる新たな道路を整備する計画はありません。また、該当地域の土地買収など多くの課題があるため、現時点では道路整備は困難です。都市軸道路守谷トンネル等に迂回していただけると助かります。
66	松並青葉二丁目	守谷市内であればどの学校を選択してもスクールバスで通えるようにしてほしい	スクールバスは、余裕教室数があり受入可能な児童数が多く、授業開始までにバス到着が確実な学校に優先して移動いただくための手段となりますので、ご理解ください。
67	松並青葉一丁目	北園交差点の問題解消の案に、迂回しての登下校ルートを検討するとあったが、昨今の猛暑や荷物の多さ・重さを考慮すると、安易に子どもの負担を増やすだけに思えて賛成できない。朝の時間や月水金の下校時のみスクランブル交差点のように、斜め横断をして流すなど、対策がないのか今一度検討を願いたい。	スクランブル交差点についても、道路管理者である県と協議した経緯はありますが、道路に待機スペースが必要であったり、朝夕の混雑時にスクランブル横断を実施することで今以上の渋滞が予測されることから、実施困難との結論に至りました。北園交差点回避ルートの検討と並行して、歩道橋の設置要望等改めて実施してまいりますので、ご理解ください。
68	松並青葉四丁目	説明会に参加し、以下のように整理した。以下の提案は市の立場も考慮した結果から導いた結論である。満額回答を期待する。 スクールバス利用学校選択制案を導入するにあたり、市が最低限準備しないといけない点は次の三点。 ①バス添乗員(素人不可) ②バス停に配置する乗降者整理員(ボランティアのみに頼るのは不可:仕事として責任を持てる方を配置) ③帰路便の増便(特に18時前後の便) ②を考慮すると乗降バス停は少ない方が効率が良さそう→児童に多少の運動効果も与える→屋根のあるヨークのみorモコバス三丁目停留所を追加→ヨークが使えない帰路便の降車場所は、安全面の点を第一にかなり慎重に設置すべき。一般道では十分な安全が確保できないと考える。私案として、降車所には北園保育所の駐車場を提案する(理由詳細後述)。行き便も同様に北園保育所付近で問題はないが、ヨーク案にもデメリットは感じない。むしろ屋根のあるメリットが大きい。北園保育所案は児童の運動量確保に資する。 上記三点の整備は必要最低限だが、説明会における住民の失望・不安・怒りを考慮すると、上記三点だけではスクールバス利用家庭が殆ど出ない可能性が高いと思われる。 そこで移動を促す策として次の二点は導入を前提として検討すべきと考える。 ④バスの乗降and/or出退校を知らせる(アプリ等の)システムの導入→徒歩通学”以上の“安心感を与え得る ⑤モコバスの御所ヶ丘方面へのルート設置および通学下校時間帯の増便：通学児童の利用料は無料 これは乗り遅れ・通院等での遅刻児童への対策。バス時刻の指定によって親の時間の融通が効かなくなるという心配点を受けた施策→通学時間帯は通勤時間帯と重なるので、バス利用者の増加と市内全体の人口移動の促進となり得る。市内の活性化も期待される ここまで整備してバス利用家庭が多少増えてくるくらいか。説明会では各種の要望が非常に多かったという事は、並大抵の事では受け入れられないという気持ちの裏返しである。 そこで、スクールバス利用希望家庭の背中を強く後押しする効果が期待できる案として、説明会でも出た、⑥松並青葉地区と守谷駅の間に学童施設を設置する案を強く支持する。これが実現すれば、市側の期待する結果に道筋が立ちそうである。 ⑦設置場所は、安全面を第一に考え、北園保育所に隣接する空き地を提案する。すなわちバス降車所の付近である。北園保育所の周辺は広い駐車場となっており、車通りも少なく安全性は極めて高い。少なくとも北園保育所の敷地は市の保有のはずなので、融通を効かせて利用できる。バス通学による子どもの運動量を懸念する家庭の要望にも応えられる。市による比較的小規模の土地の買収・拡張で学童施設を建設できるので合理的。都市計画まで巻き込む壮大な計画であるとは考えにくい。すなわち教育委員会が主導して検討できると期待する。ただし、保育所の管轄と学童施設を管轄する子ども未来部との密な連携は必要。同じ子どもを扱う元々関連が深い部署同士で必要な連携すら取れない市政に、明るい未来は無いと考える。今の守谷市にできないはずはない。 松並青葉-守谷駅間の学童施設が実現すれば、過去の推計ミスが挽回だけでなく、それ以上にスクールバス利用による学校選択制案が、むしろ黒内小学校に通うよりも松並青葉地区住民の利便性向上に資することになり得る。すなわち、松並青葉地区住民が強く求めていた、「学校変更のメリット」であり、市側による起死回生の一手になり得るのではないか。 本提案は住民の意向を汲みつつも市側の立場も尊重し、スクールバス利用による学校選択制案を成功させるためを思って考えたものである。 本提案①-⑦の実現を期待して止まない。	①②③対応する方向で準備を進めています。ただし、添乗員については、資格要件が定められているわけではないため、保育士・保健師等から体調不良時の児童対応方法等の研修を受けてもらうことで、適切な対応ができるようにしていきます。 ④バス乗降システムについては、導入する方向で準備を進めており、県内先進事例等のヒアリングも実施済みです。 ⑤モコバスについては、守谷市公共交通活性化協議会において路線バスと重複しないルートとすることで、路線バスルートのない地域の交通の足とする方針が示されており、また、物流2024年問題から運転手確保も困難となっており、ルート増設は難しいと思われますが、協議会に対して要望してまいります。また、遅刻などでスクールバス利用ができず、モコバスを代替利用する場合に備え、子どもたちの利用料無償化については実施する方向で検討しています。 ⑥⑦「学童施設」についてですが、駅東側への児童センター等の設置については、現在、担当部署と情報共有を行い、立地場所も含め今後協議していく予定です。ご意見のとおり、現在、駅東側地域には子どもたちの放課後の居場所となる児童センターがない状況ですので、地域における友人関係構築の場としても、設置について検討してまいります。 また、守谷駅周辺地区への児童クラブ設置については、今後、担当部署と相談していく予定です。学校敷地外への設置については現在民設民営で対応していますので、児童クラブとして利用できる物件有無が、設立を大きく左右すると考えます。また、児童クラブとは別に、郷州小または御所ヶ丘小児童クラブを利用されるお子さんをスクールバスでお送りした先の待機場所確保も必要と認識していますので、こちらも令和7年度までに確保できるよう進めてまいります。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
		最後に、やはり小学校新設については述べておかねばならない。説明会の質疑応答においても約1/3は新設に焦点が当てられた質問であった事をここに記しておく。 市側の推計と説明では、今後の松並青葉地区の児童数は数年後の900人程度をピークに400人程度に減少し、新小学校が設置されても近い未来に小規模校になるとの説明で一点張りであったが、現在280人の郷州小学校が小規模校になっていない現実が指摘された事により、400人で小規模校になるという市側の説明が恣意的である事が示された。すなわち、これを理由に新校設立を難しいと(頑なに)判断してきた市側の唯一の前提が完全に崩れた(と殆どの住民は判断したと思われる)。スクールバス利用による学校選択制案の導入と同時に、守谷市政全体で新校設立を議論する正式な組織(市民が議論の過程を見られる形での組織)を立ち上げる事が必須と考える。 説明会における住民の意見や要望はどれを取っても正論であった。市は抜かりなく嚴重に受け止めていただきたい。次回説明会での進展を強く望む。	学校の新設については、令和6年度から、通学区域審議会にて市全体の小中学校を適正規模・適正配置の方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合などとともに検討事項としていきます。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。 ※小規模校の定義ですが、国では、学級数が12未満でクラス替えが困難な学年が発生している場合としていますので、郷州小学校は現時点で小規模校に該当します。資料説明の際はわかりやすさを優先し、「御所ヶ丘小、郷州小が今後小規模校になる」といった説明を行いましたが、正しくは「今後は単学級の学校（1学年1クラス）になる」ということです。誤解を与える説明を行ってしまい、申し訳ありませんでした。
69	松並青葉三丁目	・実際に黒内小が過大規模校だとどのような弊害があるのか、実際に通っている子どもたちがどのように感じているのかをもっと詳しく知りたいです。現状、教室数の問題さえクリアできれば、学区を変える程の問題はないのでは？くらいに感じてしまっています。例えば、トイレが混んでいて使えないとか、休み時間に思い切り外で遊べないからストレスが溜まる子が多くて喧嘩やいじめが増えている、等があればそれは問題だと思うし、事前に知っておきたいです。 ・まわりの保護者と話すと、学校変更は選択制ではなく令和7年度からは強制だと思っている方も多いようです。私も説明会でお話を伺うまで強制だと勘違いしていました。こまめなアナウンスが必要だと思います。 ・北園交差点付近の登下校時の混雑について、歩道と車道の間にガードレールを追加してほしいです。 ・前回のアンケートのコメントがまとめて説明会資料で公表されていますが、おそらく公表されるとは知らずに書き込まれた、住んでいる地域や子どもの年齢等、個人を特定されかねない情報は、そのまま公表せずに一部削除・書き替え等するべきだったと思います。	・学校側の工夫により、子どもたちの学校満足度は、他校に比べて特に低い状況ではなく、ケンカやいじめについても他校と比べて多いという事実はありません。児童数が多いことで明らかに影響が出ている部分は、児童一人当たりの校庭面積が約6.6㎡と、全校平均(30.1㎡)よりかなり狭いため、安全生を優先して校庭を使える時間を順番制としているので他校より短くなっている状況です。他校では毎週1回設定している遊ゆうタイム(長めの昼休み)も月1回となっています。また、全学年一斉の行事は開催できず、入学式、卒業式などの学年行事も3部制となっています。 ・今後、学校選択制となることについては広報等でお知らせしていくほか、各戸通知なども行い、十分な周知を行います。 ・子どもたちの登下校時の安全対策については、引き続き道路管理者となる県や関係部署と協議し、対策を検討していきます。皆様には、ガードレール設置なども含め、具体的な場所や対策について御提案いただければ幸いです。 ・アンケートのコメントはすべてそのまま公表することを要望されているため、今回無修正で公開しましたが、再度内容を確認し、必要に応じて書換えを行ってまいります。
70	松並青葉三丁目	★帰りのバスですが、放課後子ども教室と児童クラブを利用の場合、「自家用等による送迎が困難なご家庭のみ」とありますが、やはり距離も遠くなりますし保護者の負担は大きくなるので、できれば誰でも利用できるようになると嬉しいです。 ★送迎がバスになると運動不足が心配です。放課後、体を使って遊べるような環境を希望します。（放課後子ども教室などで） また、放課後子ども教室について、松並青葉地区の子どもは無料とのことでしたが、元々在籍しているお子さんは料金が発生するということでしょうか？ ★災害時に歩いて迎えに行けないことがやはり不安ではあります。	・児童クラブは保護者の就労状況によりお迎え時間がまちまちな状況です。このため、原則は保護者のお迎えとし、送迎が困難な場合は時間を決めて運行するスクールバスにてお送りする予定です。自家用車があっても送迎困難な場合など、ご事情に応じて柔軟に対応は致しますので、ご理解ください。 ・スクールバス通学となることで発生する運動不足については、国等ではバス停留所を学校から離れた場所にするなど、歩く機会を設定する形を推奨しています。市でも今後どのような形で体力不足を補填できるか検討していきます。また、放課後子ども教室を利用する場合、通常は月2000円程度の利用料が発生します。 ・ご心配をお掛けし、申し訳ありません。災害発生時はお子様の安全確保のため、まずは学校にとどまります。保護者の皆様と連絡がつき、バスが自走できる場合は下校時のバス停などへのお送りを予定しています。
72	松並青葉三丁目	説明会に参加しました。今回の施策では黒内小学校の過大規模校の根本的な解消策とはならず、今後、松並青葉地区の児童向けの通いやすい守谷中学校の教室数が足りなくなる可能性が高くなるので、松並青葉周辺に義務教育学校を新設することを検討すべきだと思う。今から動き出せば令和12年開校も可能で令和6年に小学校入学の児童の中学進学にも間に合う。守谷市の未就学児世代への取り組みがうまく行っているから人口も順調に増えているのだから、つくば市やつくばみらい市のように義務教育児童世代が住みやすく、流入しやすくなるように小中学校の整備をしてほしい。	学校の新設については、令和6年度から、通学区域審議会にて市全体の小中学校を適正規模・適正配置の方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合などとともに検討事項としていきます。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。
73	松並青葉三丁目	・黒内から移動してほしいと言っているながら、選択後に抽選をするのはおかしいと思う ・松並青葉に学童設置し、そこまで送迎してくれるなら移動を考えてもいい。 ・近所の方の意向がまったくわからないので、集まる機会がほしい ・周りバラバラになるくらいなら地区ごとに決めてもらったほうがよい ・友人関係が心配	・移動先校の受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、柔軟な対応を検討していきたいと考えています。近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。 ・守谷駅周辺地区への児童クラブ設置については、今後、担当部署も含めて検討していきたいと考えています。学校敷地外への設置については原則民設民営となりますので、児童クラブとして利用できる物件有無が、設立を大きく左右すると考えます。設置できた場合は、学校終了後、そこまでのお送りはバスにより対応することとします。
74	松並青葉一丁目	体調不良や災害時のお迎えなど遠い場合どうなるのか、PTAや行事など遠くの地域の場合に特別な対処はあるのか。	・体調不良による早退時は、保護者によるお迎えをお願いいたします。自家用車がないなど送迎困難な場合は、学校公用車でのお送りなどを検討しています。災害発生時はお子様の安全確保のため、まずは学校にとどまります。保護者の皆様と連絡がつき、バスが自走できる場合は下校時のバス停などへのお送りを予定しています。 ・学校行事に対しては臨時スクールバスを運行させますが、PTA活動については保護者による移動をお願いいたします。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
75	松並青葉二丁目	今日はバスで登校、明日は仕事の都合上送り迎えなどにしたいのですが、その際『コドモンアプリ』等を利用して登校の仕方を報告したいのでアプリの導入をお願いしたいです。 また朝のバスですが、10分に一台もしくは2台で運用し、自分が決めた定刻のバスに乗せるのがよいと思う。 バスは商業施設を借りるとのことでそれはよいのですが、人によっては商業施設まで車で来てしまう人がいると思う。そうなると松並青葉で渋滞や事故が増えるので最初から商業施設への車乗り入れは不可にしておくべきである！！ バス登校ができれば他地域でも参考とするところがでてくると思うのでいろいろ吟味して実現できたらよいと思う。	・バス乗降状況の管理については、専用システムの導入を予定しています。県内他自治体で導入済みシステムであれば実績があり、メリットデメリットも事前に想定できることから、現在いろいろなシステム・アプリを調査中です。 ・登校時のバスは、渋滞時間中の出発となることから1便とすることを予定しています。遅刻等については公共交通機関（モコバス等）をご利用いただき、その負担分は補助する形を検討中です。 ・登校時のバス停は現在検討中ですが、ご意見のとおり、事故回避のため、またスクールバス通学による運動不足を補うため、ご自宅から徒歩で集合いただくことを想定しています。バス停への車の乗り入れは避けていただくよう呼びかけていきます。
76	松並青葉三丁目	最終的な申し込み前までに何度か学校選択の意向調査とその結果の共有をしていただけると、納得の行く形で家庭で決断が出せると思います。（市役所の皆様にご負担かけてしまいますが…）	近隣の方がどの学校を希望されているかについては、多くの皆様が望まれていますので、申込状況を複数回、地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。
77	レーベン守谷	松並青葉の子どもたちをまとめて動かすのであれば、移動先を一校にしたい。近所の友達も同じ学校の方が安心して通うことができる。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案(丁目ごとに学校を指定して変更する案)は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。ご理解、ご協力を何卒お願いいたします。 今後は、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化(地域ごとで学校を決めていく)していくことも可能ではないかと考えております。
79	松並青葉四丁目	本件、黒内小学区の子供を持つ親が他校に通わせたい・他校に安心して通わせられる条件を出すことが必要です。 市が責任を持って強制的に他校に通わせるのではなく、市民に選択権を与える以上他校に通わせるモチベーションを与えないと、スクールバスを走らせる費用だけかかって数人しか他校に移らず費用だけかかって黒内小の人数は減らないという事態になります。 それを踏まえ、バスが行き1便、帰りは夕方と夜19時というのはあまりに現実的ではありません。私は黒内小にこだわりはないので、子供の学校生活と放課後の暮らしに支障がなあのであれば、他校でも良いかと考えています。ただ、今のままでは「少し早く学校に行って友達と遊びたい」「運動会の練習を居残りしてやりたい」と言ったこともできず、習い事や塾に行こうにも少し帰りが遅れるとバスが出ていってしまったので行けない、バスの時間が遅すぎて習い事に間に合わない、スポ少の練習のための荷物を学校に持ってこないといけないといったことが想定されます。 行き帰りの便を充実させて下さい。最悪、スクールバスとは別にモコバスを走らせることも考え得るのではないのでしょうか。 その他、正直我々保護者は他校に移るにあたり何が必要かを全て言及することはできません。 我々は子供をスクールバスで通わせることを経験していませんので、思いつきでしか要望を出せず、それが全てとは言い切れません。 市として、当然他都市での先行導入事例を調べているのでしょうかから「市として何をしているか」「市民が何を望んでいるか」を表に出して、その上で守谷市では何をするかを出してください。 経験もしていない市民に要望をあげさせ、それ以外は対応しないのであれば、アンフェアであり、無責任です。 4月に条件を全て出すことはプロセスとして足りていないと考えます。バスの運行等、条件については4月段階では仮案とし、年間を通して詰めていく、制度開始後も保護者の話を聞く機会を持ち改善することとするなどの対応を求めます。 市役所側のスケジュールありきで市民が割を喰らう進め方、誰も他校に行きたいと思わないような進め方はやめてください。 最後に、本件は守谷市の失政であると思います。教育委員会ではなく、市長部局も含めた話です。人口推計は教育委員会のやることですか？人口増加施策は教育委員会のやることですか？ 守谷市の失政であることを認め、「守谷市の失政のツケを松並青葉の住民が協力する」ことを表立って発信して下さい。 今年の秋が市長選ということもあり、頭を下げたくはないでしょうが、松並青葉の子供が他校にお邪魔する、黒内小で肩身狭くとも居続けるために、我々が好きでこんな立場になっているわけではないことを市民にお伝えください。	登校時のバスは、渋滞時間中の出発となることから1便とすることを予定しています。遅刻等については公共交通機関(モコバス等)をご利用いただき、その負担分は補助する形を検討中です。 下校時は、学年ごとの下校時間に合わせたバスを運行させるほか、放課後子ども教室終了時(16時半以降)、児童クラブ終了時(19時)とは別にもう1便増便するか、モコバス利用を促すかについて検討中です。 モコバス自体の増便やルート増設は、管理者である守谷市公共交通活性化協議会に要望してまいります。 最終的なスクールバス制度を皆様にお示しする際には、参考資料とし他自治体事例も紹介していきます。 また、4月の説明会時にも、予算や運用上可能な範囲で、皆様の意見を反映できる部分はあと思っています。 今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。首長部局とも情報共有しながら対応してまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
80	松並青葉三丁目	バス利用の場合の具体的な1日のタイムスケジュール（学童なし／あり両方）が知りたいです。	以下、現時点で想定されるタイムスケジュールです。令和5年度1年生の時間割にて、バス移動時間を15分と仮定して算出しています。 ●児童クラブなし・1年生・月曜日 7：15 バス停へ出発 7：30 バスに乗車 7：50 御所ヶ丘（又は郷州）に到着 8：15 朝の会 8：30 モジュール学習（短時間学習） 8：45 授業開始（午前日課） 12：15 給食 13：45 授業開始（午後日課） 14：50 下校時刻 バス乗車 15：05 バス停到着・帰宅 ●児童クラブなし・放課後子ども教室利用・1年生・月曜日 7：15 バス停へ出発 7：30 バスに乗車 7：50 御所ヶ丘（又は郷州）に到着 （中略・下校まで同じスケジュール） 14：50 下校時刻 放課後子ども教室移動 14：55 放課後子ども教室（外遊び・体験教室など） 16：40 バス乗車 16：55 バス停到着・帰宅 ●児童クラブ利用あり・1年生・月曜日 7：15 バス停へ出発 7：30 バスに乗車 7：50 御所ヶ丘（又は郷州）に到着 （中略・下校まで同じスケジュール） 14：50 下校時刻 児童クラブ移動 14：55 児童クラブ 19：00 バス乗車 19：15 待機所到着・保護者お迎え
81	松並青葉一丁目	1.スクールバス運行、卒業後の中学校への進学(御所ヶ丘小や郷州小→守谷中の選択も可と説明会で回答あり)を踏まえた書面での確約が必要だと感じます。 2. 御所ヶ丘小や郷州小→御所ヶ丘中や愛宕中進学の場合、スクールバス運行があるのか。自転車通学の場合、通学路の安全確保は出来るのか。 3.黒内小へ行くお友だちが多いことも今の幼稚園を選択した理由でもあります。幼稚園単位で説明会などを開き、お友達と一緒に検討しませんか？など前向きな提案をする必要があると思います。 4.子供が増えることは松並青葉地区開発時点で分かり切っていたことで過大規模校になったのは市の責任、市の都合のため、黒内小以外を選択した家庭には、児童手当額2倍(所得制限なし)や税金減額などするべきではないでしょうか？新たに学校新設するよりは遥かに安いと思います。学区外に行くことでの相当のメリットがないと前向きに検討していたとしても今一つ決め手に欠けます。 松並青葉地区は高所得者が多いエリアだと思います。市の税収は増えているはずなので、結婚式場跡地買収やヤクルト2軍誘致などするお金があるならば、未来ある子供に投資すべきです。少子化の時代にこれだけ子供が多いことを誇りに思い、それ相応の対応をして欲しいです。	1 スクールバス運行等については、審議会において答申（文書）として教育委員会に提出され、教育委員会においても協議資料（文書）をもって審議するため、書面・データとして確実に残ります。 2 中学校の通学距離目安は6 km以内とされており、松並青葉地区からはどの中学校も5 km圏内ですので、現時点ではスクールバスによる通学は考えていません。ただし、通学路の安全性確保を望むご意見は多く寄せられているため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。 3 御提案ありがとうございます。保育所・幼稚園を介しての制度周知については、何らかの形で今後実施していきたいと考えています。 4 学校変更にかかるインセンティブについては、説明会等でも多くの意見をいただいております。現時点では、放課後子ども教室の参加費無償化、スクールバスとは別にモコバス等を利用する際の運賃無償化を予定していますが、そのほかに適切な支援としてできることを検討してまいります
82	レーベン守谷	学校選択をさせてもらえるのが嬉しいです。これを機に、この多様性時代において、学校選択制が広がっていけば良いと思います。そうすれば、各学校の特色がより際立ち、良い意味で各学校が競争となり、全体で見ても守谷市の水準が上がるのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。
83	レーベン守谷	松並青葉地区の人口増加がきっかけですが、多様性、選択制の時代において、公立小学校を選択できるということは先進的だと感じます。 また、他の自治体のように学区変更でなく選択出来るとしていただいたことも、様々な事情が個々にあるので最善の選択だと思います。 細かい部分で検討中があることは、今後詰めていけば問題なく、まずは2024年二学期位から試験的にスクールバスを導入し改善点を洗い出していけばよいと感じます。子供の安全安心は完ぺきにしたいです。 一番大切なのは、子供が楽しく小学校に通えることです。 説明会やアンケートで住民から行政への態度が悪いのが、子供には見せたくないと思います。 みんな子供を思ってですが、強制されている制度でないので冷静に子供に見せられる態度で参加して欲しいです。 小学校は子供がいる家庭の問題でなく地域の問題です。行政にはかなりのハードワークで準備検討していただいたと思います。感謝しております。 他の地区のご家庭からは羨ましがられます。	ご意見ありがとうございます。 スクールバスの安全性確保については、県内他自治体事例を基に確実に対応してまいります。バス会社が確定した時点で、御提案いただいたバスでの実証実験（仮導入は難しいかもしれませんが）は実施する方向で検討してまいります。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
84	松並青葉二丁目	松並青葉で開かれた説明会の資料を公開しているHPが見れなくなりました。質疑応答やこちらの欄の回答など確認していましたので、通学区域審議会のページにリンクを貼って欲しいです。 放課後子ども教室について、子供達の放課後遊びの場を確保する目的であれば、郷州と御所ヶ丘の令和7年度一年生以降は全員無料としてほしいです。松並青葉の子だけが学校に残り、地域の子は自宅や公園に集まるということになれば、意味がありません。また、松並青葉の子だけ無料ということで、分断も起きやすくなると思います。受け入れる側にもメリットがないと納得感が得られないと思いますので、ご検討よろしくお願いします。 北園交差点は令和4年度には合同点検時に要対策箇所になっていないようですが、依然危険な状況だと思いますので、安全対策を引き続き検討していただきたいです。交差点近辺の歩道も、登下校時に児童が集中し、車道へのはみ出しや縁石の上を歩くなどの危険行為が見られます。ガードレールの設置や、安全な迂回路の整備等、よろしくお願いします。 黒内小学校の更なる増設についても、結局は294西側への設備投資となり、東側の状況は変わりません。駅東側に対しても公的施設を作っていただきたいです。 守谷中学校も、敷地面積が市内では小さい方なのに、学生が多く集まることになると思います。小学校に引き続き、市内の習学環境に差が出過ぎだと思えます。守谷中学校の生徒が窮屈な思いをしないように、溢れる前に対策をお願いします。	・今回の放課後子ども教室の参加費負担は、居住地から離れた学校に通うお子さんの放課後の遊びを確保することを目的としているため、松並青葉地区限定とすることを予定していますが、分断等の問題が発生しないよう、周知については十分留意してまいります。また、コロナ禍で中止となる令和2年度までの実績からは、各校とも放課後子ども教室参加率は高い状況でしたので、移動先地域のお友達との遊びの場になると想定しています。 ・北園交差点の安全対策については、引き続き道路管理者となる県や関係部署と協議し、対策を検討していきます。皆様にも、ガードレール設置なども含め、具体的な場所や対策について御提案いただければ幸いです。 ・駅東側地域には子どもたちの放課後の居場所となる児童センターがない状況ですので、地域における友人関係構築の場としても、担当部署と情報共有を行い、設置について検討してまいります。また、学校新設については、令和6年度から通学区域審議会にて市全体の小中学校を適正規模・適正配置の方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合などとともに検討事項としていきます。 ・守谷中学校は昨年度増改築しており、現在15学級ありますが、保有教室は25学級分確保できているため、推計上は大丈夫となっております。しかし、推計以上の生徒数となる可能性も見据えて、小学校在学中に意向調査をさせていただき、不足が見込まれる場合は早急に増築を検討します。場所は、ブル跡地を利用し、校庭はつぶさない計画を立てています。
86	松並青葉四丁目	スクールバスで万が一事故にあったさいに入る保険などの金額やバスでのトラブル時の対応、松並青葉地区で起きた事件や事故の学校側の態勢	スクールバス通学に関する安全確保として、現在、事故や災害発生時等の緊急対応マニュアルを先進事例を参考に作成中です。保険金額や具体的な対応などは策定後、お知らせしていきます。
87	松並青葉一丁目	私立に通わせる訳ではないのに、同じエリアの子どもたちがバラバラの小学校に通わせるのは問題かと。 一括して学区を区切って欲しい。 そもそもこの様な学区の問題が生じる事自体に不満がある。 家を購入する際に、子育てしやすい街として掲げている点、学区はここですと示され、それを基準に購入している。 子どもが生まれ、その子の為になるとこの地域を選びました。 子どもに不便、不幸が無いよう願いたい。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案(丁目ごとに学校を指定して変更する案)は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。ご理解、ご協力を何卒お願いいたします。 今後は、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化(地域ごとで学校を決めていく)していくことも可能ではないかと考えております。いずれにしましても、地域の皆様と十分協議していくことになると思います。
90	松並青葉三丁目	説明会に参加して、怒りと疑問が増しました。先日のアンケートを答える際には、昨今の異常気象や防犯対策として、スクールバス通学はいいかもしれない、と思っておりました。しかし、説明会に参加し、詳細な情報を聞くこととなり、今回の案について、到底賛成できるものではありませんでした。今回の案は新設校ができるまでの期間限定とし、その間はやむを得ずスクールバスにて人数を拡散させる、という暫定処置以外に解決策は考えられません。 理由を書かせて頂きます。 新設校を建てられない理由が不明及び防災面（避難所の欠如）でも問題あり暫定処置の説明があっても、根本的に新設校を建てられない理由が説明されず、理解できませんでした。お金と時間がかかるのは当たり前のことです。どういう理由で建てられないのか納得のいく説明が欲しいです。また、現状大きな災害があった場合、人口に見合った小学校や中学校が建設されておらず、大混乱を招くかもしれないことがわかり、教育にとどまらず、市全体として、不信感が沸いてしまいました。 数字予測について 児童予測が当たるとは思えません。過去からの予測不備による現状のため、今後の予測も信じられないからです。上限値下限値くらいの数値を出すのが望ましいにも関わらず、ざっくりとした本当にそうなるか不明の数字の羅列。予測がずれた場合、永遠にスクールバス対応はありえないことだと思えます。また、現状の予測でスクールバスピーク時に大型バスが10台以上も住宅街に並ぶことになります。そんな地域は聞いたことがありません。過疎化したエリアがスクールバス導入になるならまだしも、繁栄している子供の多いエリアからの大量スクールバスとは、全国初のことではないでしょうか。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 ・現在、適切な学校用地が松並青葉周辺に見つけづらく、用地があった場合でも、用地取得から建設まで5～6年程度かかるため、令和7年度からの教室数不足等の対策として実施することは困難と判断しました。 今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。 また、避難所についてですが、災害対策担当部署では地区人口に応じて避難所指定をしております（松並青葉地区の指定避難所は黒内小学校ではなく開智望小学校）。仮に在校時間に災害が発生した場合は、黒内小学校だけではなく、全校がまずは子どもたちの避難場所となり、地域の皆さんには校舎等を開放するなど、開設場所や開設できるか等の判断は、発災時に現場と対策本部とで行い、その開設情報は市公式アプリ「モリンフォ」で随時発信されるとのことです。 ・今回の児童生徒数推計は、市内を細かく行政区別に分けて実績推移を出し、学区に再編して学校ごとの推計を行っています。また、確定しているすべての開発計画も想定し、ゼロ歳児の人数の出し方も、実際に守谷市での出産年齢層に合わせた形に補正するなど、調整を行っています。求めた数値は現時点では上限値として考えておりますが、あくまで推計ですので、毎年度推計値を取り続けることで、今後も可能な限り正確な数値を把握し、適切な対応が取れるようにしていきます。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
		北園交差点の混雑緩和について こちらは、対策が遅いにつきます。他の自治体では、国道県道を跨がせない学区作りが推奨されており、そもそもの計画ミスだと思います。それを市民や小学生が混雑を招いているような書き方でした。 黒内小学校の現状について 詳細を知って驚いています。これからの子供たちのことを考えることも急務ながら、現在の子供たちへの対応のなさに愕然としています。これまでの経緯は予測が出来ていないことから、まったくもって意味がないと思います。すべて過去からの予測計算ミスであり、在校生及びこれからの子供たちが犠牲になっています。また、希望制になったことで希望者が思ったより少なかった場合、黒内小学校の人数爆発を解消することにならず、今回の案は根本的に問題を解決する気があるのでしょうか。それともすでに通っている在校生からの移動願いの数値が把握できていて、解消される目途がたっているのでしょうか。 抽選について 自分たちが学区外を希望していて抽選されるなら、わかります。今回のように、本来であれば学区の学校に通いたいにも関わらず、行政の都合で、学区外の学校に行かざるを得ない自己都合ではないにも関わらず、抽選が行われるとは理解しがたいです。学区の学校に通えない上に無理やり選択した学校が抽選ではずれるとはどういう状況でしょうか。今回の希望制という案を出す以上、抽選制度はありえないことだと思います。 アンケートの対象者が不適切及びアンケート自体が読み込まれていない意見まとめも全部読ませてもらいましたが、対象ではない意見が多数散見されました。その人たちの選択数も賛成反対に反映されているはずですが。よってまったくもって本来の趣旨を表している数字とは程遠い結果となっていると思われます。また、アンケートの意見まとめを読んで驚いたことがあります。説明会当日の発表者方はすべてに目を通してないですね？質問が出た際に、わからないとぼかんとされることが度々ありましたが、すでに前回のアンケートで出ている質問がいくつかありました。なんのためのアンケートですか？声を聞く気がない姿勢が丸出しでした。せめてアンケートにあった意見については、すべて理由を答えられるようにしてから説明会が開催されるべきです。何度も同じ質問をするのは、時間の無駄です。一番驚いたのは、30年前にも行政の都合で小学校を移動しなければならないことあった、そのときの当事者の方が子供にそういう思いを再度させるのか、過去が活かされていないという意見が出たとき、発表者の方々の全員がちょっと知らないとぼかんとされていました。が、意見まとめにはしっかりとその意見も書いてありました。事前に読んでいれば、過去の経緯を現在のご担当者の方々がたとえ知らなかったとしても説明会までにはしっかりと調べあげ、そのときにはこういう事情で申し訳ございませんでした、と回答するべきです。本当に驚きました。当事者の方の気持ちを生で聞くこととなり、余計に心苦しくなりました。 上記6つの理由をもって、今回の件は受け入れがたいです。そもそも情報が少なすぎて、今回参加して参加した方々の質問で知ったことがたくさんあり、驚いている状態です。説明会の趣旨も父兄の方の質問で理解できました。今回の説明会で、スクールバス通学を促したいのですよね？納得できるのはもちろんのこと行先の魅力が伝わることも大事だったにも関わらず、納得もできず、魅力も伝わりませんでした。そもそも納得させる気も魅力を伝える気持ちもないような態度と見受けられました。形上説明会をしています、もう決まることだからよろしく、というような態度でした。そして、どんなに意見を熱く語っても、今回も形だけのアンケートとなり、声が届くこともないのではないのでしょうか。そもそもすべての意見を最後まで読まれないことが前回のアンケートでわかってしまっております。自宅周辺を車で走行するとき、街並みはキレイにされているのに、教育環境は整っておらず、自分の子供たちはもちろん、このエリアの子供たちは小学校が分断され、なんて悲しいエリアだ、と虚しい気持ちでいっぱいになります。全員が同じ意見になることは難しいのは重々承知しておりますが、せめて疑問にはすべて答えるべきです。答えられないことが一つでもある状態で、実行することは極めて危険であり、5年後やっばり無理がありました、では済まされません。でも、このまま無理やり実行されれば、その未来が見えております。その5年間の間に新設校が建てられるはずですが。過去の間違いを認め、未来をよくするための行動を望みます。早急に新設校設立に着手し、数年間は点々バラバラの小学校になりますが、数年後には同じエリアのお友達と新設校に通えて卒業できます、という方向にしてください。	スクールバスについてですが、児童数ピーク時期の登校時は商業施設の駐車場を使用させていただき、近隣への影響を押さえたいと考えています。また、下校時は学年による下校時間の違い、放課後子ども教室及び児童クラブ利用有無などで、登校時と同数のバスが一斉に運行することはないことが想定されます。下校時のバス台数が確定次第、地域の皆様のご迷惑にならないような場所（他自治体では集会所付近など人が集まる場所などに設定されることもあるようです）をバス停にするなど検討していきます。 ・子どもたちに国道を通過させる通学区域となっていることについては、市の責任であり、また安全性確保の観点から課題ととらえております。これまでも市として通学補助員を配置してきたほか、地域の皆様や道路管理者である県、警察などとも協議し、歩道の拡幅、待機所の確保、青信号時間の延長等の対策をしてまいりましたが、今後は北園交差点を回避する通学路の検討するほか、引き続き県や関係部署と協議し、対策を検討していきます。 ・黒内小学校の対策としては、特別教室及び余裕教室確保のため、校庭をつぶさない場所にプレハブを設置するほか、低学年のグラウンドとして近隣の公園を利用できるよう調整しています。あわせて、通学区域変更についても引き続き地域の皆様と協議してまいりたいと考えています。 ・受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度ずつ増やす想定の数値となっています。ただし、可能な限り抽選を行わずにご希望に添うことができるよう、申し込み状況を見て学校と調整するなど、柔軟な対応を検討していきます。 ・通学区域の変更は、地域全体の課題であると考えますので、アンケート対象は地区内にお住いの全世帯として実施しました。未就学児を含めたお子さんがいる世帯のみでのクロス集計も行っていますが、反対、賛成は、地区全体とほぼ同じ結果となっています。 賛成（1年生）：32.6％ 賛成（1～5年生）：17.4％ 賛成（1・2年生）：8.7％ 反対：33.6％ 自由意見については想定意見として目を通してはおりましたが、ご指摘の過去経緯については、今回対策案（対象：新1年生⇄全学年、手法：選択制⇄一括移動）と相違していることから未調査となっており、またその点について関係者全員での情報共有もされていない状況でした。その他、自由意見は想定質問としていたところですが、説明会当日に回答しきれなかったことについてお詫び申し上げます。 お子様の通学先についてご不安、ご心配をお掛けしておりまことに申し訳ありません。 繰り返しとなりますが、今後、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。 また、庁内でも、政策的な観点で、駅東側への公共施設の在り方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
91		様々な視点で検討しましたが、現時点では黒内小学校を考えています。（1番の理由は、御所ヶ丘、郷州に定員マックスまで分散したとしても、受け入れ人数を考えると、黒内小学校が多数派になるためです。）／1番の希望は新設校です。が、新設校と言わないまでも、小規模の黒内小学校「分校」を作ることはできないのでしょうか？（例えば、低学年の教室のみ。特別教室での授業や体育館使用は本校で。など。）／最悪、放課後教室や学童を松並青葉近辺に作れないでしょうか？（松並青葉地区の子供達が、学校が異なっても交流できる居場所を。）／状況がよく分からないまま、当日その場で、「選択制」という当初アンケートとは違う案を知り、次回は決定後の全体説明会、という点も残念に感じています。／大変な課題で、教育委員会のみならずにはご負担をおかけしています。（この問題の発端になった担当者の方と、現在の対応者の方が異動などで異なっている可能性も大いにあるだろうとも想像します。）ですが、子供の負担、地域との関わり、資産価値など、当事者にとっては大変大きな問題です。どうか、今一度ご検討をよろしくお願いいたします。	お子様の通学先について御心配をお掛けしており、申し訳ありません。 ・分校については、中学校に6年生だけ移動させて分校とするということも審議しましたが、進学先の守谷中学校敷地内に6年生の校舎を建ててしまった場合、中学生と黒内小6年生の校庭の使用順序等混乱してしまうほか、学校としての一体性が失われるとの判断で実施に至りませんでした。 ・ご指摘のとおり、現在、駅東側地域には子どもたちの放課後の居場所となる児童センターがない状況ですので、地域における友人関係構築の場としても、担当部署と情報共有を行い、設置について検討してまいります。駅周辺地区への児童クラブ設置についても、今後、担当部署と相談していく予定です。 ・当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）に対しては様々な意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。十分な周知も取れない状況となっており、誠に申し訳ありません。
92	松並青葉四丁目	選択制だけど、基本はバスで他校へ、申請により黒内選択とすると良いと思う。その方が皆さんに移動して欲しいという状況が伝わる。基本をどちらにするかはとても重要と考える。 その上で、黒内小多くの生徒が残る可能性を考え、来年度はその対策も同時に行っていたきたい。 プレハブなど検討するのはもちろんであるが、隣の公園や公民館を学校の一部として活用できるようにする。家庭科室の代わり、図書室の代わり、学年で集まれるホール。体育は半日かけて常総運動公園に行く、など出来る限りの対応をして欲しい。移動が強制でなくなった今、出来ない、調整できないは、もうやめていただきたい。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。制度上、選択先に優先度を付けられない旨、ご理解をお願いいたします。 黒内小学校対策としては、敷地内へのプレハブ設置のほか、近隣公園を低学年向けのグラウンドとして使用できるよう調整中となっています。バス移動が必要な距離の場所をお借りすることは、移動時間が授業時間を圧迫するため、実施は難しいと考えます（常総運動公園プール利用も年間2～3回上限との学校回答）が、公民館は一般利用の方との調整が可能か検討していきます。
94	松並青葉二丁目	選択制なので不利益はないと思います。ただ、スクールバスなどがたとえ少数になっても、我々の生活設計に関わりますので途中での変更や廃止はやめて欲しいです。	スクールバスは時限策であるため、黒内小学校児童数が900～800人となったタイミングで、審議会において終了時期を審議して決めていくこととなります。審議の際には、保護者の皆様などの御意見をいただきながら、直前での終了とならないよう十分な調整を行っていきます。また、スクールバス通学の在校児童を途中で学校変更するなどの対応は行わない予定です。
95	松並青葉三丁目	①【抽選に関して】基本的にスクールバスで分散させるのは賛成でしたが、今回の新しい情報として、定員を超えたら抽選になるというのが驚きました。協力してくれと言われて協力するのに抽選外ですとなるのは納得できません。黒内以外を選択した場合であれば第一希望に必ず行けるように確約していただきたいです。 ②【地域の理解に関して】前回アンケートの学区変更案に対して、ひがしの等の他地区は巻き込まないで欲しいという意見が散見されていました。勝手に増えたので自分たちの責任だという考えは出ることはわかりますが、タウンミーティング等で何度も増築で対応可能であるとの市の見解から居住を決めたので、住人の責任はないことを市は説明責任を果たしてほしいです。本件は市全体の問題であり、基本的には互助の考えであるはずですが。全地区で選択制となりましたが実質は松並青葉が中心に協力するという結果になっています。このような経緯を含めた結果を各地区に説明するような機会は今後予定していますか？（もう関係ないとなり興味を持たれないかもしれませんが） ③【今後の開発に関して】失政から松並青葉が負担を強いることになっています。アンケートで資産に関する言及もありますが、負の側面が出てしまったのは事実です。小学校問題はもう仕方がないので、別の点で松並青葉を優遇するような施策があれば、ポジティブになれるかと思います。②で挙げたように、松並青葉が協力したという経緯を踏まえた施策は今後考えられるのでしょうか？（都市計画課案件ですが）例えば、車両基地への新駅建設であれば、今回影響のある子どもたちが市外への高校などへ通うことの手助けになると思いますが現実的ではないでしょうか？TX沿線の高校問題などを踏まえ、長い目で施策をお願いしたいです。 ④複数校になることで、地域に分断が生じるとの意見が多いがピンときていません。例えば、私立へ通っている家庭から、そのような話が出てくるのか、もし市の方で把握してるようでしたら教えていただきたいです。	①移動先の受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の人数となっています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、目安人数を超過した場合も学校と調整するなど、可能な限り柔軟な対応を検討していきたいと考えています。 ②ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありません。黒内小学校通学区域内では、松並青葉地区だけではなく、守谷駅周辺の他地区でも児童数が増えており、今回の事態の原因は、これを正確に把握できなかった市の推計の甘さにあります。誠に申し訳ありませんでした。教育委員会議決後の最終的な対策については、広報もりややHPで市全体にお知らせしていきますが、通学区域の見直しについても引き続き協議してまいります。 ③学校変更にかかるインセンティブについては、説明会等でも多くの意見をいただいております。現時点では、放課後子ども教室の参加費無償化、スクールバスとは別にモコバス等を利用する際の運賃無償化を予定していますが、そのほかに適切な支援としてできることを、中長期的な視点も入れて検討してまいります。 ④一般的に、学校選択制のデメリットとしては「地域と学校が連携しづらくなる」、「近所に友達ができづらい」などと言われていますが、私立に進学された方からそのような御意見が寄せられたことはありません（市の私立小学校進学率：3～4％程度）。学校行事の時期が異なったり、友達関係が別の学校での構築となりますので、一定程度の影響は出ると思いますが、私立から公立に編入する方からは、保育所・幼稚園時代の地域の友達と親交が続いているため、同じ学校に通いたいといった要望をいただくこともありますので、地域性やご近所等との関係性にもよると考えられます。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
		⑤【バスに関してコメント】モコバスの停留所であると多すぎて近所迷惑になるかと思っていましたが、商業施設でも乗車可能であれば、ある程度分散できるので人数次第ですが停留所でもありかと思いました。また、安全面を考えると停留所付近には横断歩道を作っていただきたいです。結構なスピードで住宅街を抜けていく車があります（1,2丁目の住人らしいですが）。 ⑥【北園交差点に関して】昼間の人数が少ないため歩道橋建設が却下されたようですが、同じ歩道橋である新守谷駅のきずな橋は令和2年9月の議会で「開智学園の方が400名、率にすると約9割方は、開智学園の橋」と調査されてる市議の方がおりまして、昼間の人数は少ないように思えます。きずな橋は守谷市からも費用負担をして建設したようですが、北園交差点の利用人数は何人なのでしょう。400人より少ないという認識であっていますか？多い場合、きずな橋は建設できて北園は却下された理由は何なのでしょう？ ⑦【学童に関してコメント】他の方の意見でもありますが、放課後はいったん松並青葉までバスで移動し、学童などは家付近で実施していただけると交流の点や安心感などあり、よいかと思いました ⑧【学校新設に関してコメント】新規に学校を建ててほしいという要望が沢山ありますが、現状の市政を鑑みると反対です。将来的な減少は確実であるので、建てるのであれば覚悟を持って人口増加させるという意味がある人が市長になり、その市長を中心に人員を刷新させた上であれば良いと思います。今の消極的な体制では絶対にやめたほうが良いと思います。	⑤登校時のバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することを検討しています。下校時のバス停は、降車人数がばらけるため、地区ごとのモコバス停留所付近を検討しています。横断歩道の敷設については警察管轄となりますので、\$ステイ場所が確定した時点で、市の現状を踏まえて要請してまいります。 ⑥新守谷駅きずな橋は、新守谷駅東側に改札口がない状況を踏まえ、利便性向上を図るために市道として都市計画決定され、建設したものです。このため、計画当初から歩道橋の形となっていた点が、北園交差点と経緯が異なります。 ⑦守谷駅周辺地区への児童クラブ設置については、今後、担当部署も含めて検討していきたいと考えています。学校敷地外への設置については原則民設民営となりますので、児童クラブとして利用できる物件有無が、設立を大きく左右すると考えます。設置できた場合は、学校終了後、そこまでのお送りはバスにより対応することとします。 ⑧通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。
96	松並青葉三丁目	各小中学校の卒業生の進学先(卒業生数、小学校であれば進学中学校名と人数、中学校であれば進学高校や専門学校名などと人数、人数の表記が難しい場合は%表示でも)を知りたい。偏差値の高い学校に進学すればいいわけではないし、学校の教育だけで良い進学先に行けるわけではないが、どういった志向の児童、保護者が集まっているのかの傾向を知りたいことは学校選択の重要な指針になりますのでお願いします。	私立中学校等への進学は、義務教育期間中の選択であり、保護者や該当児童の意志による個人判断となるため公開はいたしません。高校進学先については、現在、中学校毎にHPで公開しております。人数又は割合については、公開可能か学校と協議してまいります。
97	松並青葉二丁目	松並青葉地区を対象としたスクールバス導入による学校選択制度案の説明会において、市のご説明を伺いましたが、率直なところ、本件に係る市の一連の対応については深く失望しています。 スクールバスによる通学を選択した場合に想定される該当児童及び保護者の様々な負担やスクールバスによる通学の安全性確保に関する諸課題については、すでに多くの住民の方々から、的確な問題提起がなされていると承知しておりますので、私からは、今後の守谷市の更なる発展を願い、以下2点問題提起させていただきます。 1 子育て世代の受入れに係る市の姿勢について ご承知のとおり、2005年のTX開通により、守谷市は都内へのアクセス・交通の利便性は飛躍的に向上しており、都内等へ通勤する子育て世代にとって、豊かな自然環境も併せて持つ守谷市は、住むまちとしての魅力や将来性は大いにあるものと思われます。取り分け駅周辺地域においては、現に松並青葉地区を始めとする住宅地開発やマンションの開発が行われ、多くの子育て世代が当該地域に居住するようになりました。 同様にTX沿線自治体である流山市、つくばみらい市及びつくば市においては、子育て世代を中心とする移住者を積極的に受け入れるのに併せて、子供たちの良好な教育環境確保のために公立小学校の新設が断続的に行われているものと承知しておりますが、守谷市においては、子育て世代の流入が続いている中、公立小学校の新設について積極的に検討すらされていない状況です。先日の説明会において、当初の児童数の推計では、黒内小学校の増築で対応可能であった旨のご説明がりましたが、仮に当初推計通りであり、黒内小学校がキャパシティ上児童の受入れが可能であったとしても、黒内小学校の現状を見る限り、特別教室や校庭の利用に制約が生じるなど、良好な教育環境が提供されているとは思えません。 直近の児童数の推計により、黒内小学校が現在の学区における児童を全て受入れることができなくなることが明らかになってもなお、現在の人口状況を踏まえた推計では児童数が減少が見込まれる、現時点で大規模な区画整理等が予定されていないなど、あくまで現時点におけるファクトベースの観点で、学校の新設が積極的に検討されていないようですが、このような子育て世代の受入れに後ろ向きな姿勢で、今後守谷市が住むまちとして子育て世代に選ばれるのでしょうか、甚だ疑念を抱かずにはいられません。守谷市が今後の更なる発展のため、より多くの子育て世代にとって魅力的な街になるためには、近隣の自治体と同様に、もしくはそれら以上に、市長を始めとした守谷市の指導的立場にある方々の強いリーダーシップのもと、今後守谷市として子育て世代の更なる受入れをどのように行なっていくのかというグランドデザインを描いた上で、都市政策・住宅政策だけでなく、学校の新設も念頭においた良好な教育環境の整備を進めていく必要があると考えられます。なお、黒内小学校における児童受入れの余力は限界にきていることから、仮に用地確保等の制約から、駅周辺地域における学校の新設ができないのであれば、子育て世代の流入が想定される駅周辺地域における住宅・マンション開発には制限を課すべきです。良好な教育環境を提供できないにもかかわらず、住宅・マンション開発を漫然と許容するのは、市として無責任な対応と言わざるを得ません。	1 市は、豊かな自然を残しながら計画的な開発が行われるよう、昭和40～50年代から市域を市街化区域と市街化調整区域とに分け、計画的な開発を進めてきました。現在の市の「人口ビジョン・第2期総合戦略」でも、人口上限を7万人程度に設定し、その規模が維持できるような戦略展開を図っていく方針となっています。 このため、現時点では政策的な回答はできかねますが、黒内小学校の過大規模化により多くの課題が発生していることを重く受け止め、まずはその解決のために実施可能な対策を講じてまいります。また、通学区域審議会では、令和6年度から市全体の小中学校を適正規模で中長期的に推移させていくための方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合や新設も検討事項としていく予定です。 併せて、庁内でも、政策的な観点で、学校をはじめとする公共施設の在り方を市全体で検証する場の設定をしていきます。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
		2 スクールバスの導入という手法について 先日の説明会において、過大規模校対策として、一部地区の児童に限定して徒歩通学困難な遠方の学校に送迎するためのスクールバスを導入する手法については、他の自治体等での先例はないのではないかとのことでしたが、なぜかかる先例がないのか、守谷市においてしかるべく検討がなされていたのでしょうか。おそらく、一部の地区に対して大きな負担を強いる事になるため、公平性の観点から賢明な対策とは言えないからなのではないでしょうか。 今後、守谷市が本気で子育て世代の更なる受入れを進めたいというのであれば、一部の地区、とりわけ新しく移り住んだ子育て世代が集住する地区において、事実上スクールバスによる通学を強く促す制度が適切なのか、移住を検討している子育て世代にとって魅力的なのかどうか、しっかり検討がなされたのでしょうか。新住民に限定して負担を強いるようなこのような対策が魅力的なわけがなく、市外に知れ渡れば、移住をば検討されている多くの子育て世代は、いずれ自分たちも負担を強いられるのではないかと思います。松並青葉地区の住民にだけ我慢してもらおうと安易に考えられているのかもしれませんが、このように今後の守谷市の子育て世代受入れにおいて、重大な影響を与えかねないことについて、守谷市は猛省すべきです。	2 スクールバス制度の実施に際して、御負担をお掛けすることになり誠に申し訳ありません。 黒内小学校通学区域内では、松並青葉地区だけではなく、守谷駅周辺の他地区でも児童数が増えており、今回の事態の原因は、これを正確に把握できなかった市の推計の甘さにあります。今回対策としましては、スクールバス通学による学校選択制のほか、黒内小学校の全通学区域で他校を選択できる就学校変更申立制度を実施いたしますが、学校の適正規模・適正配置という観点から、通学区域の変更についても引き続き協議してまいります。 ※開発に伴い一部地区児童に限定してスクールバス通学を行った他自治体事例はありますが、建設中に制度を導入し、入居直後からスクールバス通学を始めたとのことでした。スクールバス制度は、統廃合などで学校まで遠くなった場合や、通学時の安全対策策として実施されています。
98	レーベン守谷	現在療育中で、支援級クラスに進学する可能性があります。支援級の子供がバス通学した場合も対応して下さるのでしょうか。また、各学校の支援級クラスの子の対応も気になります	登校班で通学できるお子さんであれば、バス通学も可能であると思います。御心配であれば保護者の付き添いも可能です。また学校によって特別支援クラスでの対応が変わることはありません。
99	レーベン守谷	大人の都合ではなく子供の安全性と成育環境を第1に考えて欲しいです。それは今後の守谷市の発展に大きく影響すると思います。よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちの安全、また、より良い教育環境確保のため、実施可能な最善の策を検討します。
100	松並青葉四丁目	選択制で定員オーバーの場合は抽選、という方針には反対です。 理由1: 私立ではなく公立の小学校を選択する理由の一つが、近所の友人たちと絆を深めながら、一緒に学業に励んでほしいというのがあります。 私の主観ではありますが、公立を選択するほとんどの方が大なり小なりそのような考えを持っているのではと思います。 選択制+抽選にしてみると、それが叶わなくなる可能性があります。 もし近所の友人グループの中で一人だけ違う学校に行くことになってしまい（抽選で落ちるなどして）、その子が仲間外れになってしまうようなことを想像すると、、心が痛みます。 くじ引きで子供たちの友人関係を壊すようなことはやめて頂きたいです。 理由2: 以前は松並青葉内の居住地区で学校を分ける方針だと聞いていました。 元々守谷では原則公立校は校区で学校が決まるルールでしたし、その校区変更には納得し、黒内以外の学校に行くのも良いと思っていました。 ただ今回の方針転換を聞いて、黒内以外を選択することに迷いが生じるようになりました。 このようにせっかく黒内以外に行かせることに納得していたのに、今回の方針転換によってそれをやめてしまう方はかなりの数発生すると思います。 元々黒内への集中を避けるためにこのような話になっているのに、ここで選択制を採用するのは本末転倒だと思います。 たしかに地区で分断することで友人と別れてしまう、という方もいると思います。 が、それはおそらく全体から見ると少数で、そのような方は個別にフォローすれば良い話だと思います。 （原則校区で決まるが、正当な理由があれば校区外選択もOK、という形など） 他には「そもそももっと学校を自由に選択したい」という意見があり、それも汲み取ったのかもしれませんが、それに関してはまた別の次元の話だと考えます。 元々校区制を採用している守谷市において、小学校を自由選択制にするというのは大きな転換であり、それは市全体を巻き込んで別のテーマとして進めた方が良いでしょう。 今回の件に便乗して進める話ではないです。 理由3: 近所の知り合いの方何名かとの話をしたのですが、少なくとも今回の方針転換に喜んでいる人はゼロでした。 私の狭いコミュニティの範囲での話なので、これは参考にならないかもしれませんが、共有まで。	・移動先校の受入れ人数目安は、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす想定の数となっています。ただし、可能な限りご希望に添えるよう、柔軟な対応を検討していきたいと考えています。近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。 通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
101	松並青葉二丁目	(1)北園交差点で下校時に子供達が押し合いし、先頭の子が車道に押されて車に轢かれた事故があったことを知りました。登下校の時間帯は北園交差点の周囲のみ294号線の左車線の速度を30～40キロ程度に制限するとか、北園交差点の周囲のみ左車線を通行止めにするといったこともご検討いただきたいです。まだされていないなら登下校の時間帯のビデオを撮って、いかに危険かを県等に伝えていただきたいです。ひどい事故が起きる前に、どうかお願いいたします。 (2)どの学校を選択しても、子供達がいじめられたり嫌味を言われたりということがないようにしてほしいです。黒内、御所ヶ丘、郷州の小学校形態がなぜこうなっているのか、松並青葉の保護者や子供達は悪くないことを、スクールバス制度が続く間は定期的に広報等で市から発信してほしいです。	（１）昨年度、下校班を追いかけようと赤信号で飛び出した児童が車と接触した事故（大事には至りませんでした）はありましたが、御意見のような事故はありません。左車線のみの速度規制や車線通行止め等かなり難しいと思われますが、子ども達の安全確保のため、できる限り努力するとともに県にも協力をお願いしていきます。 （２）選択申込周知も兼ね、毎年度広報紙等で制度周知することなどを検討してまいります。また、どの学校へ通学しても子どもたちが楽しくのびのびと学校生活を送れるよう、毎月学校が実施するアンケート等を利用して子どもたちの状況を把握するなど、学校と協力して進めてまいります。
102	レーベン守谷	北園交差点を通行すると危険だからわざわざ子供達や通学見守りする保護者に遠回りさせる通学路を設定するって正気ですか？これ以上松並青葉地区の住民に負担を背負わせないでください。レーベンは県道直進で通学できるから見守れるんです。どこまで迂回させるつもりか知らされてもないので分かりませんが、親の出勤時間もある中で通学見守りに協力しようと思ってもそれでは出来なくなります。また、酷暑のさなかや真冬、悪天候の日、わざわざ遠回りするなんてますます危険性が増します。断固反対します。	御意見ありがとうございます。 通学路については、学校と保護者の皆様と話し合いをしながら決めていきたいと考えております。
103	松並青葉三丁目	市政として、過密地区の子どもを過疎地区にスクールバスで移動させるということは本来ありえないことです。 他の自治体に前例がないということは、対策として間違っていることを認識してほしいです。 希望者以外は原則黒内小とし、いかに就学環境を整えるかに予算と時間を使うべきです。 学区割を変更する、分校を作る、黒内小に登校した後にクラス単位で他の場所にバスで移動し授業をするなど、黒内小に通わせる前提で対策を講じてください。 現実的に、スクールバスで他の学校に移動する方は少数だと思います。	お子様の通学先について御心配をお掛けしており、申し訳ありません。 他の学校を選択されない方は黒内小学校に入学となります。 黒内小学校の児童数が減らない場合を予想し、プレハブ校舎の建築のほか、低学年の体育や休み時間の遊ぶ場所として、近くの中央黒内公園を使用できないか検討中であります。 分校については、中学校に6年生だけ移動させて分校とするということも審議しましたが、進学先の守谷中学校敷地内に6年生の校舎を建ててしまった場合、中学生と黒内小6年生の校庭の使用順序等混乱してしまうほか、学校としての一体性が失われるとの判断で実施に至りませんでした。また、黒内小にいったん通学してから他のバスで他の場所に移動するには時間的制約やバスの待機場所の問題などかなり難しいと思われます。
104	松並青葉四丁目	第一希望を黒内小にすれば必ず黒内小に行けるのか。 またバス利用申込締切が7月、学校選択申立締切が11月となっている。バス利用申込締切以降、再検討し黒内でなく郷州を選択した場合、スクールバスは利用できないということか。	黒内小学校へは必ず入学できます。 バス申し込みが7月締切りにさせていただいたのは、バスや運転手の確保の為、令和7年4月からの運行開始から逆算すると7月末までにはバスの台数を確定する必要があるためです。締め切り日以降、バスの定員に余裕があれば利用は可能です。
106	松並青葉四丁目	最初松並青葉地区はまとめて郷州か御所ヶ丘とゆう話に驚きはしたものの、現在の黒内の状況を見るとしょうがないな、でも近所の子たちと一緒に移動なら良いなと思っていたところ、この間の説明会では選択制となり残念に思いました。 近所の方たちとも話しましたが皆この選択制に戸惑い、いっその事松並青葉全員で移動ってなったほうが良いよねという方がほとんどです。 説明会でも地域のつながりを気にしておられる方が多く感じました。 やはりすでに黒内小に在籍されている保護者の方は途中からの学校変更に反対される方もおられると思いますが、その反対だけの意見を聞くんじゃなくて賛成の意見も汲み上げてほしいです。 基本松並青葉まとめて移動でどうしても黒内に通いたい方だけ別に対応するという形のほうが納得できます。 選択制で応募者多数だと抽選というのも意味がわかりません。 それぞれの家庭や近所の方たちと相談して変更しようと決断したのに抽選に落ちましたと言われるのは腹が立ちます。 様々な点をふまえて選択制には反対です。 スクールバスはすごくありがたいです。 中には雨の日にバス停で待たせるのは可哀想だとか暑い日に熱中症にならないか心配とかの話がありましたが、子どもたちは雨の日には傘をさし暑い日には汗だくになり熱中症になりながら歩いて通学しています。 バスに乗せて通学させてもらえるだけありがたいです。 そんな過保護な人たちの意見は放っておいて、皆が納得できる結論を出していただきたいです。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 抽選の理由としては、学校全体で学年ごとの学級数のバランスが崩れないよう、各学年で1～2クラス程度増やす人数が限度となるためとなっております。ただし、目安人数を超過した場合は学校と協議し、可能な限りご希望に添えるよう、柔軟な対応を検討していきたいと考えています。 また、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化（地域ごとで学校を決めていく）などを検討していくことはできると考えています。受入人数目安も含め、柔軟に対応していきますので、何卒御理解いただきますようお願いいたします。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
107	レーベン守谷	なぜスクールバスでの移動先を御所ヶ丘と郷州に分けなければならないのか。保護者として、1番不安に思うのは、子供のコミュニティが分割されないか、少数派に分類されて周囲と関わる機会が減ってしまうのでは、ということだと思います。市としても移動してほしいと本当に願っているのであれば、黒内以外を希望する人は全員郷州小に受け入れ可能としていただきたいです。非常時のこと、放課後の遊びの場の設け方、学童を考慮したバスの運用なども含め二か所に分散するよりも一か所のほうが新体制時にも管理しやすく、人為的なミスや経費も抑えることができるのではないのでしょうか。説明会時には、郷州は増築可能ではあるとおっしゃっていました。子供たちのことを第一に考え、守谷市全体の課題として、なんとか郷州に統一できないのでしょうか。増築後不要になった場合のことを考え、校舎はバリアフリーや非常時のバリアフリー避難所にする、他の活用方法を探すなど、さまざまなことも検討できるとおもいます。今回の施策の結果、中途半端な人数しか結局動かず、さらに黒内にプレハブを立てて無理やり子供を詰め込むことになると、さらに子供達に負荷がかかります。本気で大人数を動かすための最善策ではないのでしょうか。 また、最終的な就学先の希望を出す際は、一度提出した後、全体の就学希望数の数字を全員がみられるようにしていただけないのでしょうか。その数字によって途中で変更も可能としていただければ、と思います。	通学区域の変更については様々な御意見が寄せられ、反対意見や選択制を望む声が多い状況でした。また、子どもたちの友人関係などを考慮すると、当初の案（丁目ごとに学校を指定して変更する案）は、時間を掛けて段階を踏んで進めていくべきであり、今回は制度開始までに時間的余裕がないことから、選択制という方針を取らせていただきました。 また、受入校を1校とすると、移動人数によっては受入先が大規模校となる可能性があるため、2校に分散した経緯があります。しかしながら、初年度以降の実績を踏まえて地区ごとの傾向を確認し、固定化（地域ごとで学校を決めていく）や1校のみに限定するなどを検討していくことはできると考えています。受入人数目安も含め、柔軟に対応していきますので、何卒御理解いただきますようお願いいたします。 また、近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を実施してまいります。
108	松並青葉三丁目	各小学校のキャパを考慮して、学校、子ども、親が安全、安定、安心した環境になるようにきちんとリーダーシップをとって市には方針を示してもらいたいです。 本来は守谷市全域での学区の変更が望ましいと考えます。 説明会での現行案を伺いましたが、松並青葉地区を黒内小通学区で継続検討中との案で、それで本当に問題が解決されますか？ 分散したいなら今後子どもが学校変更しなくて良いように、きちんと学区を決めてください。 近所の子ども達と同じ学校へ自然と通えないのは公立学校の良さを失っていると感じます。 またスクールバスを入れるのは良いですが、雨の日に商業施設一ヶ所に集まるような運営はやめてください。二カ所になっても近所ましてや向かいのような場所はやめてください。松並青葉の住宅街の狭い道路の多さをよく見てください。数百人が一部の場所に集まるようなオペレーションで交通量が増えた場合、完全に朝は混乱します。 また、モコバスの停留所を使うにしてもバスが複数台も止まれるような場所でしょうか？ 数百人がバス利用できるような状況とは思えません。 バス停となる場所、バス停で待てる環境、松並青葉の交通状況をしっかり考慮して検討してください。 毎年運営方法が変わっては困りますし、事故が起きてからでは遅いです。 宜しく願いいたします。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 通学区域については、令和6年度から通学区域審議会にて市全体の小中学校を適正規模・適正配置の方針を検討する予定となっていますので、その中で、守谷市全体の統廃合などとともに検討事項としていきます。 スクーバスのバス停は、現在、商業施設の駐車場をお借りすることを想定していますが、通勤渋滞等の道路の状況などを踏まえ、商業施設から比較的遠い地区についてはモコバス停留所を利用することも検討していきます。下校時は学年による下校時間の違い、放課後子ども教室及び児童クラブ利用有無などで、登校時と同数のバスが一斉に運行することはないことが想定されます。このため下校時のバス停は、現在は地区ごとのモコバス停留所付近を検討していますが、（下校時）バス台数が確定次第、地域の皆様のご迷惑にならないような場所（他自治体では集会所付近など人が集まる場所などに設定されることもあるようです）に設定してまいります。
109	松並青葉三丁目	まず今回の説明会で、市が市民の意見を聞くことなく勝手に物事を決定をした後に、事後報告のみで済ませようとしている姿勢にとっても憤りを感じ、悲しかったです。立案、検討、協議の段階できちんと対象市民には説明や意見を聞くべきです。実際、説明会で市民の意見を聞くことで得られた気付きも多かったと思います。当事者でしか分からないこと、市の職員では分からない、想像できないことがあるのではないのでしょうか？それもなく事項が決定されたことに違和感しかありません。実際、あのしどろもどろで、不確定情報ばかりの説明会では、納得、安心する親は少ないと思いますし、せっかく大切な財源を使ってバスの手配をされる予定なのに、利用者が少なく結局意味のない対応だった、ということでは市民にどう説明されるのか…、今のところはモヤモヤしかありません。また、選択制ということですが、選択する上で1番知りたいのは、同じ地区で一緒にその学校へいく同じ学年のお友達が何人いるのか？というところです。それが例えば30人であれば、行ってみようかなと検討できるかもしれませんし、5人や10人以下なら行かないでしょうし、またその中の男女比も気になります。そういった情報もないまま選択するのは難しいです。 もう少し当事者の立場で物事を検討されることを願っております。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 近隣の方がどの学校を希望されているかについては、申込状況を地区別にHP上で公開するなどの対応を検討していきたいと考えています。 また、対策案を審議してきた通学区域審議会の構成員には、該当地域のまちづくり協議会から選出された方やPTA会長等も含まれておりますので、今後は、委員の皆様にご協力をお願いして、審議経過等を地域に広く開示し、早い段階から地域の皆様のご意見をお聞きする場などを設定していきたいと考えています。

松並青葉地区 学校選択に関する意向調査 自由意見への回答（2月17日～3月4日分まで）

No	1.お住いの地区	6.学校選択制に関する質問やご意見	回答
110	松並青葉二丁目	時限的な対応であることは分かりましたが、ここまで放置しておきながら事後報告状態で松並青葉地区の子供のことをしっかり考えていない市には正直失望しました。人口が減少することばかり試算されており、今後市を発展させていこうという施策には到底思えません。(まだまだ駅前には駐車場が多く、こちらが宅地になる可能性もありますよね?) 説明会でもご意見がありましたが、質疑応答の半数が学校新設についてです。その事実をしっかり受け止め、新設まで5年かかってもこれ以上犠牲となる子供が増えないよう、教育委員会だけではなくメンバーで早急に新学校設立を検討するプロジェクトチームを立ち上げてください。説明会の答弁では松並青葉地区の住民は納得しません。何が阻害しているのか等、きちんと検討し、報告してください。避難所としても有事の際に黒内小だけでは収容しきれないと思いますが。 北園交差点の安全確保のために通学路を変更する案もでているようですが、真夏の炎天下や悪天候時に、重い荷物を持って遠回りさせられる子供達のことをしっかり考えていますか?歩道橋も作れない、学校の新設もできない。松並青葉地区住民を蔑ろにしていますよね。『守谷は未来におせっかいです』『子育て王国守谷』と掲げているのであれば、とにかく早急に学校新設についてプロジェクトを立ち上げてください。駅東側には、児童館ではなく、学校新設してください。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 学校の新設については、令和6年度から、通学区域審議会にて市全体の小中学校を適正規模・適正配置の方針を検討する予定となっていますので、その中で、松並青葉地区を含めた守谷駅周辺を一体的に捉えて、統廃合などとともに検討事項としていきます。あわせて、庁内でも、政策的な観点で小中学校のあり方を検証する場の設定をしていきたいと考えています。 北園交差点の安全確保につきましては、これまでも市として通学補助員を配置してきたほか、地域の皆様や道路管理者である県、警察などとも協議し、歩道の拡幅、待機所の確保、青信号時間の延長等の対策をしまいいりましたが、歩道橋の設置は県との協議の結果、実現に至りませんでした。このため、混雑緩和や通学時の安全確保も目的の一つとしてスクールバス制度導入を実施するものですが、歩道橋設置については、県に対して改めて要望してまいります。
111	松並青葉二丁目	学校選択先の教育方針やその方法等の詳細な情報及び北園交差点の通学緩和の対策（例えば、アンダーパスの整備等）	守谷市のホームページで各学校の情報を公開いたしましたのでご覧ください。また、北園交差点につきましては、これまでも市として通学補助員を配置してきたほか、地域の皆様や道路管理者である県、警察などとも協議し、歩道の拡幅、待機所の確保、青信号時間の延長等の対策をしまいいりましたが、今後は北園交差点を回避する通学路を検討するほか、引き続き県や関係部署と協議し、対策を検討していきます。
112	松並青葉四丁目	選択制になり正直とても困っています。黒内の過大規模化はわかるので他に行かせたい気持ちはありますが、どう選んだら良いのか…。子が自分だけで決められる歳でもないし、スクールバス通学の子が少なかったら本人が可哀想だし…。前向きに検討するためにも、まずは行き帰りどちらもバス本数の増加、および中学進学後もバス運行の継続を検討してほしいです。	今回は、市の児童数学級数推計の甘さから、このような事態を招いてしまい、誠に申し訳ありません。 登校時のバスは、渋滞時間中の出発となることから1便とすることを予定しており、遅刻等は公共交通機関（モコバス等）をご利用いただき、その負担分を補助する形を検討中です。 下校時は、学年ごとの下校時間に合わせたバスのほか、放課後子ども教室終了時（16時半以降）、児童クラブ終了時（19時）とは別にもう1便増便するか、モコバス利用を促すかについて検討中です。 中学校へのスクールバスですが、中学校通学距離の目安が6km以内とされており、松並青葉地区からはどの中学校も5km圏内ですので、現時点ではスクールバス運行は考えておりません。ただし、通学路の安全性確保を望むご意見は多く寄せられているため、安全ルートの確認や危険箇所の整備について、学校、地域、道路管理担当部署等と協議して検討していきます。